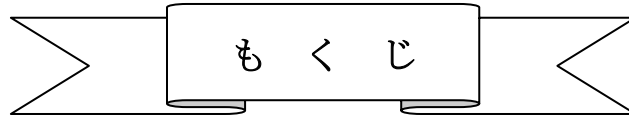


2020 年度

甲南大学経済学会

入門のしおり



まえがき	1
I 経済学部へようこそ	3
各経済学部教員（五十音順）	5
II 経済学部の先生方に質問（五十音順）	28
III 新入生へのメッセージ	75
「新入生のみなさんへ」 藤田 誠也	76
「ようこそ！甲南大学へ」 多田 凌也	77
IV 新入生のみなさんへ	78
甲南大学経済学会について	80
V 甲南大学経済学会会則	86
総会規程・評議員会規程	88
卒業生会員細則	89

まえがき

入学生のみなさん、甲南大学経済学部へのご入学おめでとうございます。みなさんは、本学に入学し、経済学部生となると同時に、規約によって、《甲南大学経済学会》の会員となることになっています。みなさんが手にしたこの小冊子は、新入生を対象として作られた経済学部への案内書です。

この小冊子は、みなさんが経済学を学んでいく実際のお場を構成する甲南大学経済学部の教員、学生、そして、卒業生の方々の声で「経済学とその周辺を語る」という内容になっています。新入生のみなさんは大学に入学したばかりでまだ経済学部のことがよくわからないと思いますので、この冊子を読んでぜひ参考にさせていただければと思います。

『Ⅰ 経済学部へようこそ』では、経済学部の先生方に様々な視点から、新入生の皆さんへメッセージをいただいています。先生ならではの経験から得た言葉が、皆さんのこれから始まる大学生活の糧になればと思います。

『Ⅱ 経済学部の先生方に質問』では、経済学部の先生方から、素朴な質問に対する答えをいただいています。このページを見ることで、甲南大学経済学部の先生がどんな方々であるのかということが少しはわかるのではないのでしょうか。「あの先生がこんな回答をしている」といった意外な発見ができるかもしれませんし、講義やゼミナールを選択する際の参考になるかもしれません。

『Ⅲ 新入生へのメッセージ』では、甲南大学経済学部を卒業された方々からメッセージをいただいています。みなさんの先輩方はどのようなことをおっしゃっているのでしょうか。

『Ⅳ 新入生のみなさんへ』では、「甲南大学経済学会」という組織について紹介しています。甲南大学経済学会とは、経済学部の教員・学生・卒業生が対等の権利を持って運営している自治組織です。新入生のみなさんの中には、「経済学会という組織はまだ何のことかわからない」という人が多いかもしれません。そこで、「経済学会ってなんだろう？」というみなさんの疑問に対して、経済学会の具体的な活動やみなさんの交流の場である「経済コモンルーム」についても紹介しています。

はじめから読んでいく、好きなところだけ読むなど、利用方法はみなさんの自由です。この小冊子がみなさんの大学生活の手助けになれば幸いです。

2020年4月

甲南大学経済学会
評議員編集委員一同

経済学部へようこそ！
(50音順)

青木 浩治先生	5	小山 直樹先生	17
足立 泰美先生	6	寺尾 健先生	18
石川 路子先生	7	中川 真太郎先生	19
石田 功先生	8	林 健太先生	20
稲田 義久先生	9	林 亮輔先生	21
上島 康弘先生	10	平井 健介先生	22
永廣 颯先生	11	宮川 敏治先生	23
岡田 元浩先生	12	村澤 康友先生	24
奥田 敬先生	13	森 剛志先生	25
小佐野 広先生	14	森本 裕先生	26
春日 教測先生	15		
高 龍秀先生	16		



新入生の皆さんへのメッセージ

青木 浩治

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんはどのような抱負を持って入学されましたか？あれもこれもとやりたいこと一杯の人から、まだ何も決めていない人まで様々でしょう。しかし、まずやるべきことは友達作り。この作業に失敗すると、大学4年間はずまらない時間となり、大学生生活不適應者に陥ってしまうと言っても過言ではありません。

第二に強調したいことは、大学4年間はあっという間に過ぎてしまうということです。このことはみなさんの先輩が異口同音に言っていること。言い換えれば、大学生活はとても楽しく、おそらく人生において最も有意義な期間だということです。そのための仕掛けが大学にはあちこちに用意されています。なにもせずボーっと4年間を過ごした人は社会に入る手前でイエロー・カード、場合によってはレッド・カードが突き付けられます（その意味はやがて分かってきます）。意識して「大学でこんなことした、あんなことした」と胸を張って言えることを見つけて下さい。ただし、アルバイトはほどほどに……。

第三に、当然のことなのですが、自分の規律付けを怠らないようにしましょう。これまで親や先生の言われる通りしていればよかった時期はもうおしまい。大学では所定単位の修得以外に学生に課される制約は特にありません。その意味でかなりの程度自由なのですが、同時に自分の選択の結果に対して、その責任を要求されます。自由には責任がついて回ることを意識しましょう。その訓練をする場が大学生活です。そして第四に、社会常識を付けること。犯罪行為は論外として、やってよいこととそうでないことのケジメを付けるようにしましょう（喫煙マナーがその一例）。

いずれにせよ、皆さんの4年間に有意義であることを切に願っています。

新入生の皆さんへのメッセージ

足立 泰美

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。皆さん4年間の大学生活、これまでの学業生活とは異なる点が幾つもあります。その1つがスケジュール管理です。今までは、学校から決められた時間割りをこなす毎日だったのではないのでしょうか。1時間目は数学、2時間目は国語といった時間割りが既に組まれた小学校、中学校そして高校生活。しかし大学生活は違います。スケジュールは真っ白です。その白紙のスケジュールに、自分だけの予定表を創り出していきます。

まず受講科目の登録が最初にあります。学士を取得するために、最低でもどの科目を、何単位履修しなくてはいけないのか。1年目には何を修めておかねばならないのか、2年目にはどの科目を選択しておくのがよいのか、3年目は1年目と2年目で培われた知識をどう発展させていったらいいのか。シラバスを読み進めながら大学の所定の規定を理解し、興味のある科目、勉強してみたい科目もしくは単位のとりやすい科目を調べ、選択し、そして自分だけの唯一の時間割を作成します。その時間割を踏まえて、アルバイトや多様なサークル活動などのスケジュールを入れていきます。

一日、一週間そして一月、自分が決めたスケジュールで生活を繰り返し送り、大学生活から就職に視点を向ける時には、この時間の積み重ねが、おもいおもいの力となります。そこには一日24時間という制約された条件のなかで、自分の拘子定規で何に時間を投入するかを選択し、一定の成果を見いだそうとします。つまり、自分の選択が大学生活4年間の学業の蓄積と多様な見識となり、将来への道に繋がる原動力となります。

どうぞ新入生の皆さんが、この4年間で有意義に過ごし成長することを切に願っています。

自立する力を身につけよう

石川 路子

大学に入学し、新たなスタートを迎えた皆さんは今どのような気持ちを抱いているでしょうか。勉強や部活動に全力で取り組もうと意欲を燃やす人もいれば、受験勉強から解放されて思い切り「自由」を楽しもうと思っている人もいるかもしれません。大学ではさまざまな自由を手にすることができます。今から4年後の自分を想像することは難しいと思いますが、その自由をどのように活用するかによって、皆さんの将来は大きく変わってきます。ぜひこの貴重な時間を有効に使ってくださいね。

ところで、皆さんは「自立していますか?」と問われたとき、どのように答えるでしょうか。「学費や生活費を親が負担してくれているから自立していない」という学生もいれば、「アルバイトで稼いでいるから自立している」と答える学生もいるかもしれません。

国語辞典で調べると、自立とは「他への従属から離れて独り立ちすること。他からの支配や助力を受けずに、存在すること。」という意味を持ちます。もちろん、金銭的な援助がなくても自分の力で稼ぎ生活していくことができることも自立です。しかし、より大きな意味では「他者に依存せず、自分自身の力で道を切り開いていくことができる」ことが自立につながります。大学生活を通じて皆さんが身につけておくべき力は、自分で考え、選択し、決定していくという、まさに「自立する力」なのです。

大学では、自由を手に入れることができる分、自分自身で選択、決定しなければならぬ機会が増えていきます。その際に必要なのは自分が目指すべき理想の姿です。人は自身の理想像を他者から学んでいきます。「あんな先輩になりたい」「こんな職業につきたい」自分の理想の姿をより具体化するためには、できるだけ多くの人々と交流することは必要不可欠です。

皆さんが自立するためにも、そして将来の夢を実現させるためにも、大学生活はさまざまな機会を与えてくれます。大学生活は皆さんが大きく成長できるチャンスです。ぜひ皆さんが充実した大学生活を過ごされることを願っています。

大学での「研究」

石田 功

大学での学業はこれまでとはどう違うのでしょうか？いろいろありますが、ひとつには大学では「研究」のウェイトが大きくなることがあげられます（いきなりではないですが上級生になるにつれ）。国語辞典で「研究」を引くと、

1. 物事を学問的に深く考え、調べ、明らかにすること。
2. 単に、調べること。

とあります（岩波国語辞典第3版より。私が付番）。例えば、これまでも「夏休み自由研究」で何かのテーマについて本やネットで詳しく調べるといふ課題には皆さんも取り組んだことがあるでしょう。そこでもテーマや教材の選定等、主体的な学習が求められ、特定の知識自体の習得だけでなく、知識を得るためのスキルの習得も目的だったと思いますが、上記2の意味での「研究」にとどまる場合も多かったのではないのでしょうか。

一方、学生による研究も含めて、大学でいう「研究」は1の意味での研究が中心になります。大学の使命のひとつには「知のフロンティアの拡張」があります。つまり、研究により、これまで誰も知らなかった新たな事実の発見や新たなものごとの見方を蓄積することです。それは大袈裟に聞こえるかもしれませんが「人類の財産」としての蓄積の作業で、厳格な科学的手続きに従うことが求められます。単に自分自身の知識を増やすための学習（インプット）ではなく、知の生産（アプトプット）活動なので、2の意味での研究とは発表の仕方も違ってきます。皆さんの2年次後期以降の少人数クラスのゼミでの「研究」が1の意味での研究であることは言うに及びませんが、ひとつの科目の簡単なレポート課題であっても1の意味での研究の準備だと理解できれば取り組み方も全く違ってきます。早い段階で「研究=2の意味」から、「研究=1の意味」に意識を移行させることが出来れば、4年間の学業もより充実したものになるでしょう。甲南大学経済学会のウェブページで、皆さんの先輩がゼミで取り組んだ研究の具体的なテーマや内容について知ることができるので、是非、参考にして下さい。

関西経済、インバウンドを生かし、反攻の時

稲田 義久

関西経済はここ数年「2つの輸出」に支えられ、好調に推移してきた。「2つの輸出」とは、財の輸出とインバウンドというサービスの輸出(インバウンド消費は、統計上ではサービスの輸出に分類される)を指す。しかし、これまで順調であった「2つの輸出」が、今逆回転し始めている。電子部品デバイスのような中国向けの財の輸出は、米中貿易戦争の余波に大きな影響を受けている。インバウンド需要も日韓関係の悪化から、少なからず影響を受けているが、インバウンド消費は振れ幅が少なく、長期的に見ても伸びが期待できる。

関西経済は長期低落の坂を下ってきた。成長のポテンシャルはあるが、実力を発揮できない時期が長く続いてきた。このような状況下で、何らかの需要が喚起され投資が行われれば供給力が高まり、潜在成長率が上がる好循環が期待できる。

実は昨年 11 月の大阪・関西万博の誘致成功が大きな転換点だとひそかに考えている。2025 年の開催を成功させるため、インフラ整備など様々な事業が動き始めた。実際、6 月末に大阪で開催された G20 サミットは関西経済反転のキックオフミーティングと思う。万博会場でもある大阪ベイエリアの発展は関西経済反転の象徴になると考えている。この動きを加速させるのがインバウンドのさらなる成長である。

ただこれまで順調に推移したインバウンドにとって課題は 3 つある。第一は、これまで培ってきたブランド力をいかに維持していくか。第二に、訪日外客の大阪・京都への集中をいかに緩和し、広域化・周遊化させるか。第三に、莫大なインバウンド需要に応える供給力を生むイノベーションをいかに創出していくかである。万博、インバウンドは最先端のイノベーションを促す絶好の機会となろう。それをうまく取り込めば、関西経済の競争力は一気に高まるであろう。

この本を読んでよかった

上島 康弘

・フランク・マコート『アンジェラの灰』:

「みんなブドウパンをほじくって干しブドウを探す。でも、ない。ある日、ぼくのパンに一粒の干しブドウがある。ぼくはそれを高々とかかげる。みんなはぼくに、そのブドウをくれという。代わりになんでもやるから。漫画本をやる、トビー・マッキーは妹をやるという。でも、そのとき、部屋の隅に靴なしで立っているパディ・クロヘシーが見える。冷たい地下室で、蹴とばされた犬みたいに震えている。パディのところに行って、その干しブドウをやる。だって、ほかにどうすればよかったんだろう」。

・ケン・キージー『カッコーの巣の上で』:

「思うに、マックマーフィは自分を守り通すだけの強靱さを持っているのだ。あるがままの姿になりきっているからこそ、彼は強いのだ。彼のような外見の男がどうして絵を描いたり、人に手紙を書いたりできるのか。マックマーフィは外見の姿にこだわって、自分の本来の生活を変えるというようなことはしなかった」。

・ジョン・スタインベック『怒りの葡萄』:

「1セント玉を手にした父親は、キャンディの前で凍りついたようになっている2人の息子を見た。ねえさん、あのキャンディは1セントかな？ 2つで1セントよ。彼がうなずくと、子供たちは恐る恐る菓子に手を出してぎこちなく微笑んだ。親子は店を出て行った。ビルが言った、あれは1本5セントだろう。それがどうしたのさと、メイが強い口調で答えた。ビルは銀貨を1枚、カウンターに置いてドアのほうへ行った」。

・ジェローム・サリンジャー『ライ麦畑でつかまえて』:

「僕にはね、広いライ麦の畑があつてさ、そこで小さな子供たちが、みんなでなんかのゲームをしているところが目に見えるんだよ。で、僕はあぶない崖のふちに立ってるんだ。僕のやる仕事はね、崖から転げ落ちそうになったら、その子をつかまえることなんだ。それだけをやっていればいいんだな。そういったものに僕はなりたいたいよ」。

・中島敦『李陵』:

「天はやはり見ていたという考えが李陵をいたく打った。見ていないようできて、やっぱり天は見ている。彼は肅然として怖れた。言いたいことは山ほどあった。それを言えば愚痴になってしまう。彼は一言もそれについては言わなかった。ただ、涙が頬をつたわった。めめしいぞと、自ら叱りながらどうしようもなかった」。

・シャーロット・ブロンテ『ジェーン・エア』:

「わたしは自分が大事だ。孤独であればあるほど、友もなく庇護もなければいほど、ますますわたしは自分を尊重する。わたしは、私が受け入れた道徳を守ろう。道徳は、肉体と魂がそれらの峻巖しゅんげんに反逆したとき、そのようなときのためにあるのだ」。

「経済を学ぶ」ということ

永廣 顕

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

みなさんはこれから4年間、経済を学ぶことになりましたが、そもそも経済とはいったい何なのでしょう。

私たち人間（ヒト）は、生きていくために必要な財やサービス（モノ）をつくらなければなりません。現代においては、家計（個人）が企業に労働や土地を提供し、企業がモノを生産しています。家計は企業から受け取った賃金など（カネ）でモノを購入し、それを消費して生きています。この状況を「市場経済の成立」と言います。しかし、市場経済はいつもうまく機能するわけではなく、混乱や問題が生じることがあります。そこで政府が登場し、家計と企業をまとめて市場経済を統治しています。この政府の活動を「財政」と言います。このように、経済とは、人間が生きていくための活動であり、それをめぐる家計・企業・政府の相互関係にもとづいたヒト・モノ・カネの動きなのです。すなわち、私たち人間の生活の営みそのものなのです。

したがって、「経済を学ぶ」ことは「生き方を考える」ことにつながると言ってもよく、「生き方を考える」ためには経済について幅広くしっかりと勉強することが必要となるのです。それは、高校までの勉強のように正解とされていることをただ暗記するだけではなく、自分自身が置かれている現在の状況と自分自身が進もうとする将来の目標に即して、正解とされていることが本当に正しいのか、自分自身にとって何が正解であるのかを追究するということなのです。

もちろん、大学生活においては勉強がすべてではなく、クラブ・サークル活動やアルバイト、ボランティアやインターンシップ、さらには就職活動なども重要であることは言うまでもありません。これらの活動から学ぶことが多いのも事実です。しかし、経済について体系的に勉強する機会を大学以外の場所で得ることは難しいでしょう。自分の興味や問題関心から専門的な勉強を思う存分できるのは大学での4年間だけなのです。しかもその4年間はあっという間に過ぎてしまうのです。

大学生活のスタートラインに立ったみなさんが、有意義な4年間で過ごせることを心から願っています。

「学生生活の最終段階に達したみなさんへ」

岡田 元浩

甲南大学経済学部入学おめでとうございます。さて、おそらくみなさんの大半にとって「甲南大学経済学部卒業」が最終学歴になることでしょう。つまり、甲南大学での学生生活を完了すれば、みなさんは社会人として巣立っていくということです。ひとたび社会人としての生活が始まれば、みなさんを待ち受けているのは、俗に世間の荒波と呼ばれる厳しい現実です。社会人になったからといって、ご家族をはじめ、それまで皆さんを守り育ててきた人々の支えがいきなり断ち切られるわけではありません。しかし遅かれ早かれみなさんは、矛盾や悲痛、その他あらゆる困難に満ちた世の中を自らの力によって生き抜かねばならぬこととなります。だからといって、私たちが自分1人の力だけで生きることが不可能です。そこで肝腎なのは、強い自立心と正しい認識に立つ他者との協同精神です。甲南大学での学生生活でみなさんに身につけてほしいと思うもの、というよりも身につけるべきものは、つまるところ以上の点に尽きる、というのが私の思いであり、この観点から実際にみなさんと接するよう努めています。私がこう記すと、社会人としての準備が大事だというのであれば、何より就職だ、学業より就職準備優先で1年生時から臨むべきだ、と解釈する人がいるかもしれません。しかし、それはあたかも、もろい土台の上に家を築くようなもので、一時的にはうまくいっても、やがてはくじかれる破目になるでしょう。就職を含むみなさんの将来のためにも、まずは日々の学業を地道に修め、さらには課外活動をはじめ大学時代ならではの体験に打ち込んでください。

講義の単価？—エレガントな答案を求む—

奥田 敬

【設問】

大学における1コマ90分の講義の(学生にとっての)単価を算出せよ。
ただし、単純化のため、4年間の学費総額は教科書代も含めて400万円とし、その間の生活費や、働いていれば得られた収入は度外視する。

【解法1】

全く無駄なく、最小費用最大便益(?)で卒業を目指す。
卒業所要単位数は128単位であるから、
1単位あたりの単価は、 $4,000,000 \div 128 = 31,250$ (円)
半期15週で2単位なので、
 $31,250 \times 2 \div 15 = 4,166.66\dots$

答え 約4,200円

【解法2】

もったいないから(単位制限とは関係なく)聴講しまくる。
1週間30コマならば通年で
 $30 \times 15 \times 2 = 900$ (コマ)だから、
 $4,000,000 \div (900 \times 4) = 1,111.11\dots$

答え 約1,100円

【解法3】

4年分の在籍料と割り切り、出席は(留年も)気にしない。
1日あたりの在籍料は、
 $4,000,000 \div (365 \times 4) = 2,739.72\dots$ (円)
90分あたりに換算すると、
 $4,000,000 \div (365 \times 4) \div 24 \times 1.5 = 171.23\dots$

答え 約170円

(さて、あなたはどれを選びますか？ 別解があればお知らせください。)

敵対的企業買収について

小佐野 広

最近の日本の新聞やテレビの経済関係のニュースをみると、時おり、敵対的企業買収（ある企業の経営権をその企業の経営陣の了解なく買い取ってしまう事、もっとひらたく言えば、ある企業を乗っ取って既存の経営陣を交代刷新すること）という言葉を目にします。しかも、敵対的企業買収が成功したというニュースも目にします。実は、これは数年前以前の日本企業では、考えられなかったことなのです。

欧米では、敵対的企業買収というのはその頻度に浮き沈みはありますが、必ずしもまれなことではありません。企業の株価がその企業の本来の価値よりもかなり低い時には、よく起こることです。とくに、買収される側の企業が本来の価値を達成して株価が高くなることは経済にとっていいことなので、敵対的企業買収は経済の効率性を達成するための重要な手段と考えられます。

これに対して、戦後の日本では、メインバンク制・株式持ち合いのような日本的な金融システムと終身雇用制・企業別労働組合のような日本的な労働システムが補完しあって和をもって貴しとする企業文化が支配し、敵対的企業買収という現象は皆無とっていい状態でした（ただし、1995年にドイツ製薬大手ベーリンガーインゲルハイムがエスエス製薬に敵対的企業買収を仕掛けて成功した例はあります）。しかし、1990年のバブル崩壊後、不良債権の増加とともに日本的なシステムが変容していくに伴い、とくに2006年になって製紙業界トップの王子製紙が当時業界6位だった北越製紙に対して敵対的企業買収を仕掛けました。もっとも、この王子製紙の試みは結局失敗しました。その後、敵対的企業買収を仕掛ける企業はありませんでした。ところが、2019年になって、伊藤忠商事 vs デサント、エイチ・アイ・エス vs ユニゾホールディングス、コクヨ vs ペンてる（最初に名前のある企業が敵対企業買収を仕掛けている企業）等といった有名企業が敵対的企業買収を仕掛ける例が相次ぎました。とくに、伊藤忠商事の場合は敵対的企業買収に成功したという点で、これまでの日本のコーポレート・ガバナンスとは明らかに違った状況が生まれているようです。

「常識」を疑ってみよう

春日 教測

私が高校生の頃を振り返ってみると、教科書はほぼ正しいもので、特に疑うこともなく文章や数式を理解し、また史実や言語を暗記し忠実に再現することが、学校での主要な課題だったような気がします。でも注意してみると、実際の世の中には不思議な記述や「常識」と異なる現象が多いことに気がつきます。

例えばサッカーの試合で「エースストライカーが点を入れた試合は負けない」という『神話』が紹介されることがあります。ですが、誰の得点であれサッカーの試合での1点は非常に大きい意味を持ちますから、その時点で既に1点獲得しているチームの勝率が高くなるのは、それほど不思議なことではないのではないのでしょうか。またある医療ドラマでは、急患死亡率0%の病院Aと50%の病院Bあり、実際にその病院を知る患者が信頼しているのは病院Bだという事例が描かれていました。一見すると不思議な現象ですが、実は病院Bではどんな患者でも最後まで救命に尽力する姿勢なのに対し、病院Aでは重症度が高く死亡率の高そうな患者の受け入れを徹底的に拒否しているためだという内容を見て、視聴者は納得することになります。大人気漫画ワンピースでは、時に「行き過ぎた正義」を行使する赤犬元帥率いる海軍と、破天荒ですが世間のしがらみにとらわれず自分の感情に素直に行動するルフィ率いる「善良な」海賊団が描かれていますが、こうした「常識」とのギャップも、大きな魅力の一つになっていると言えるでしょう。

経済学に代表される社会科学を学ぶ者として、このような「常識」を疑う目を持ち、常にいろいろな解釈や別の捉え方を考えてみるのが、最も大切なことだと個人的には考えています。いわゆる「ツッコミの文化」を有する関西圏で生活する我々は、経済学、ひいては社会科学全般に携わるのに向いているのかもしれませんがね。皆さんも、周囲の出来事に絶えずツッコミを入れる習慣を、是非身につけてください。ただやりすぎると疎まれるので、くれぐれも周囲の空気を読むことを忘れずに！

新入生のみなさんへ

高 龍 秀

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。みなさんを心より歓迎します。新入生になってみなさんは多くの夢と希望を持っていることと思います。

大学に入ってその夢に一步步近づいてほしいと思います。

大学に入って、まず、世の中で起こっていることに興味を持って下さい。日本では2012年末に安倍政権が発足し、「アベノミクス」の名の下に日本経済をより良くするための政策がいろいろと議論され実行されています。どのような経済政策を行えば日本がより幸せな社会になることができるのでしょうか。みなさんが就職活動をする頃には日本社会はより良い状況になっているのでしょうか。米国で新しく登場したトランプ政権と日本とどう付き合っていけばいいのでしょうか。いつの間にか日本より経済規模が大きくなった中国とはどう付き合うべきでしょうか。世の中を見渡せば、このような複雑な問題がいっぱいあります。それは仕方ありません。私たちの住んでいる現代社会がとても複雑だからです。

みなさんが入った経済学部ではこの複雑な現代社会について、入門的な課題から1歩ずつ学んでいきます。みなさんの勉強の対象となる現代の経済は複雑ですから、「答えを簡単に求めない」ことが大切です。大学受験までは、「1つの決められた答えにいかにか早くたどり着くか」という勉強スタイルだったと思います。例えば社会系の科目では「覚える」科目が多かったと思います。しかし最初に述べた現代経済の問題では、答えは決まっていないものもあります。また、答えが1つでないものもあります。ですから大学では、基本的な事実を「覚える勉強」とともに、その知識を武器により複雑な現象を論理的に考えていく勉強をしなければなりません。そのような勉強を2年生以上のゼミなどの科目で行うことになります。そこでは答えを簡単に「見つける」勉強ではなく、これまで学んだ知識をもとに時間をかけて「より深く考える」勉強が求められています。

みなさんの努力次第で「深く考える力」が付き、大学卒業までの4年間で大きく視野が広がることと思います。そのことで、「いい就職ができる力」という次元だけでなく「この社会を生きていく力」をつけることができるはずです。大きな可能性がある未来に向かって、ぜひ頑張ってください。

『経済学の学び方 ” As you like it” 2019』

小山 直樹

経済学という学問は、
理論 (theory)、政策 (policy)、歴史 (history)
の三本柱から成り立っています。

私が担当する統計入門は、選択必修科目です。統計学は、経済学
の分野では、経済現象の実態を数量的に把握するための方法とし
て、昔から重視されてきました。経済学の理論・政策・歴史のどの
分野においても、統計データを通して経済の実態を把握することが
基礎になっています。ですから、経済学を学ぶ学生諸君は、最低
限、統計学の基礎を履修する必要があります。

ただし、私たち教える側（供給サイド）が用意したお仕着せメニ
ュー通りに経済学を学ぶのも結構ですが、学生の側が、何をどう学
んでいくかの選択権をもっていることをお忘れなく。

つまり、学生のみなさんが、「自分はなぜ経済学を学ぶのか」、「実
際に学んだ甲斐があったか」を何度でも考えて、『自分にとっての経
済学を学ぶ意義』を随時確認することが一番大切です。そして、卒
業するときに、「自分が学んだ経済学はこういうものだ」と振り返る
ことができれば上出来と言えるでしょう。

最後に、せっかく甲南大学経済学部に入學したのですから、キャン
パスライフを十分に楽しんでください。

好きな言葉／贈る言葉

てら お たける
寺尾 建

新入生のみなさんに、ぼくの好きな言葉を贈ります。いまから4年後、みなさんが甲南大学を卒業する直前の時期に、それまでの4年間を振り返りながら再び読んでもらえるならば、とても嬉しく思います。

人生に失敗がないと、人生を失敗する。

——斉藤茂太（精神科医，1916-1996）

人を信じよ。しかし、その百倍も自らを信じよ。

——手塚治虫（漫画家，1928-1989）

険しい山に登るためには、最初はゆっくり歩くことが必要である。

——シェイクスピア（劇作家，1564-1616）

下を向いていたら、虹を見つけることはできない。

——チャールズ・チャップリン（映画俳優，1889-1977）

しっかりと準備もしていないのに、目標を語る資格はない。

——イチロー（プロ野球選手，1973-）

どんなマーケティングでも、駄作をヒットさせることはできない。

——スティーブ・ジョブズ（実業家，1955-2011）

垣根は相手がつくっているのではなく、自分がつくっている。

——アリストテレス（哲学者，前384-前322）

人類は太古の昔から、帰りが遅いと心配してくれる人を必要としている。

——マーガレット・ミード（文化人類学者，1901-1978）

うまく使えば、時間はいつでも十分にある。

——ゲーテ（詩人・小説家，1749-1832）

新入生とトマトソース

中川真太郎

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。入学を機に一人暮らしを始められた方もいらっしゃると思います。

私が大学に入ったのは、もう20年以上前になりますが、初めて一人暮らしをして、自炊にも取り組んでみました。

当時、よく作っていたのはパスタでした。たとえば、トマトソースのパスタをつくるとします。乾燥パスタの袋に書いてある茹で時間より1分くらい短いところで麺を取り出しますと、熱々の麺は黄色く色づいて湯気を上げています。レトルトのソースをフライパンで温めておいたところに、麺を入れて全体にざっくりと数回かき混ぜますと、麺はソースを吸って赤く色づきます。ソースは水分を失って麺としっかりと混じり合います。これを皿に盛り付けてパルメザンチーズをパラパラッと振って食べると、これは美味しい、となるわけです。

ところが、自炊を始めた頃は茹で加減が分かりません。髪の毛一本程度の芯を残してアルデンテに茹でる、茹でる、茹でると念じていると、いつの間にか規定の茹で時間を過ぎてしまいます。水分を多く含んだ麺は、艶艶として白っぽい色になりますが、こうなるとソースを吸い込んでくれません。麺とソースがバラバラで、水っぽい味になります。そのくせ、このメーカーのソースは不味いなどと、メーカーを責めたりしたものでした。

そんな下手な料理も、かれこれ20年ほど続けてきまして、今ではそれなりに食べられる食事を作れるようになりました。苦手なことでも続けていけば上手になる、継続は力なりということですね。

皆さんも、是非、大学生活では目標を決めて挑戦し、継続して取り組んでみて下さい。きっと自分自身の力になると思いますよ。

新入生の皆さんへ

林 健太

このたびは、甲南大学経済学部へのご入学、誠におめでとうございます。

さて、皆さんは今、激動の時代を生きているという実感をどれ程お持ちでしょうか。2007年に米アップル社がiPhoneを発売して以降、世界中の多くの人がスマートフォンを所持するようになりました。日本でも例外は無く、10代20代の大学生年代に限って言えば、所持率は90%を超えるという調査もあります。

スマートフォンの普及とともに、世の中のルールもどんどん変わっています。スマートフォンを通じて集められた（ビッグ）データを、どのように活用して利益を上げるかを、世界中の企業がこぞって研究しています。そのために、短時間で、何度もアクセスするようなサービスが数多く開発され、私たちは気づいたらスマートフォンを触っているという状態に置かれているのです。

一方で、大学で送るリアルな生活とはどのようなものでしょうか。新入学と同時に学内で友人を作る、クラブ・サークル活動を選ぶ、朝早く起きて授業に出席する、所属するゼミを選ぶ、課題レポートをこなす、定期試験を受ける、恋愛する、留学する、趣味に没頭する、就職活動を行う等々・・・、どれもこれも、時間や労力（＝コスト）がかかるものばかりですね。

だが、それがいい！

そう遠くない将来、人工知能とロボットの普及によって、私たちは余った時間をどう使うかを真剣に考えなければならない時代が来るでしょう。今の内から、スマートフォン以外のリアルライフの過ごし方について考えてみるのがとても大切です、という予言をしておこうと思います。

「将来のために」を意識しよう

林 亮輔

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学で送る4年間は、皆さんにとって（おそらく）人生最後の学生生活となります。サークル活動、部活動、アルバイト、留学など、比較的自由度の高い大学での時間をどのように活用するか、様々な夢や希望をふくらませているのではないのでしょうか。大学での4年間は、皆さんが考えている以上にあっという間に過ぎていきますので、少しでも気になることがあればチャレンジすることを恐れず、大学生活を充実したものにしてほしいと思います。

入学したばかりの皆さんにとっては気の早い話かもしれませんが、学生時代を助走期間に例えるなら、4年後には皆さんは自分自身の力で社会に飛び立っていかねばなりません。社会では学生時代に培った様々な能力が試されますが、学生時代にどのような能力を身につける必要があるのでしょうか？

経済産業省が企業の人事担当者に対して行った調査によると、多くの人事担当者が「主体性」「課題発見力」「コミュニケーション能力」といった能力が今の学生に欠けていると答えたそうです。これらの能力を、経済産業省は「社会人基礎力」と呼んでいます。この社会人基礎力を身につけることが学生である皆さんには求められているのです。

大学は専門性の高い知識を学ぶ場であるとともに、それらの知識を得るプロセスを通じて社会人基礎力を高められる工夫が散りばめられています。しかしながら、大学に在籍しさえすればこれらの能力を高められるわけではありません。腕や足の筋力をつけるにはトレーニングが必要なように、脳の力を高める際にもまたトレーニングが必要なのです。

したがって、皆さんには学業にも積極的に取り組んで欲しいと思います。サークル活動やアルバイトを通じて高められる能力と学業を通じて高められる能力は異なることから、「将来のためにどの能力を高めなければならないのか」を常に自問自答し、大学を卒業する際には確かな成長が感じられるよう、充実した大学生活を過ごされることを願っています。

興味の発見、方法の獲得

文責：平井健介

入学おめでとうございます。皆さんは経済学部生として「経済の問題に興味を持って探究すること」が求められるようになります。一方、学生の多くは「それができれば苦労しないよ」と言って、ただ単位を取ることにだけに全力を注ぎます。あなたもそうなるかもしれません。しかし、経済について探究しない経済学部生は、野球の練習をしない野球部員と同じぐらい、イタイ存在です。そんな学生を一人でも減らしたいという思いで書いてみます。

まず、「興味を持つ」について。みうらじゅんという様々な物事に興味を持つ方がいます。みうらさんは、物事に興味を持つためには、それに一步踏みこみ、好きだと洗脳する努力が必要だと言います。つまり、「興味を持つ」とは、自然的な行為だけでなく、意識的な行為でもあるということです。勉強も同じです。対象への興味が最初からあることは稀で、勉強する（対象に一步踏み込む）なかでゆっくりと生まれてきます。まずは、キーワードを1つ選び、それが好きだと自分を洗脳して、少しずつ調べてみてください（村澤先生のエッセイ「夢八訓」も参照して下さい）。

次に、「探究する」について。推理小説家として著名な東野圭吾氏の作品に「ストーカー入門」というのがあります。ある女性が交際相手を自分のストーカーとして育成する話です。しかし、交際相手の男性は女性のことが好きなのにストーカーになりきれず、「なぜ私のバイト先に張り込んでないの!!」「なぜ私が今朝出したゴミを漁っていないの!!」と散々なじられます。つまり、「興味ある対象」（＝女性）があっても、その対象を探究するためには、探究の「方法」を知る必要があるということです。

大学の授業は、興味ある対象を見つけるためよりも、それを探究する方法（モノの考え方や資料の調べ方など）を学ぶためにあります。皆さんがこれから学ぶ経済学も、世の中の様々なモノを探求する方法の一つです（残念ながら（？）金を稼ぐためにあるのではないのです）。また、経済学以外の学問も多く学べば、世界を探究する方法はもっと豊かになるでしょう。まずは自分を洗脳して興味ある対象を生み出し、それを探究する方法を学ぶために授業を活用してください。四年後には今とは違う世界が広がっています。

「ゼミ」での研究のすすめ

宮川 敏治

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。あまり堅苦しく考えず、何でも良いので「一生懸命になれるもの」を見つけて、4年間を過ごしてみてください。その「一生懸命になれるもの」はこの先、必ずみなさんの人生を助けてくれます。

私は、この「一生懸命になれるもの」として、2年生から始まる少人数クラスで行う「ゼミ」での研究をしませんか？というお誘いをしたいと思います。(例えば)私のゼミでは、5人程度のグループを作って、それぞれのグループで研究テーマを決めて、アンケートや実験を通じてデータを収集し、理論的検証を行い、オリジナルな研究成果を導き出し、プレゼン大会に出場し、研究成果を披露する、ということを行います。内容は、(私の専門の)「ミクロ経済学」や「ゲーム理論」のものになるのですが、このグループ研究を通じて、

1. みんなで一つの目標に向かって頑張る楽しさを知る
2. 互いの意見を尊重しながら、議論するやり方を知る
3. 世界でただ一つの成果を上げることで学問の楽しさを知る
4. データを科学的(統計的)手法で処理できるようになる
5. 視覚にうったえる資料(パワーポイント)を作成できるようになる
6. 人前で堂々とプレゼンテーションができるようになる

といった就職活動だけでなく、実際に社会にでてからも役に立つ「技術」や「技能」を身につけることができます。大学時代に全力を傾けてやってみる価値は十分にあります。

クラブ、アルバイト、英語、資格などその他のものでも本当は構わないのですが、私がプロとしてお手伝いできるのは「ゼミでの研究」です。一緒にゼミに入ってやってみませんか？

新入生向けの「エッセイ」を書くという依頼でこの原稿を書いているのですが、ゼミの勧誘になってしまいました。。。 (笑) どのゼミでも同じことはできます。とにかく「ゼミでの研究」は大学でできる勉強の醍醐味を味わせてくれると思います。

夢八訓

村澤 康友

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！

挨拶などでよく引用されるので、聞いたことがある人も多いかもしれませんが、吉田貞雄の「夢八訓」という言葉を紹介します。

夢のある人は希望がある／希望のある人は目標がある／目標のある人は計画がある／計画のある人は行動がある／行動のある人は実績がある／実績のある人は反省がある／反省のある人は進歩がある／進歩のある人は夢がある

「夢」を持つのが難しい時代とされています。夢が見つからなくて悩んでいる人もいるかもしれません。そういう人は、まず「行動」してみましょう。そこから実績→反省→進歩→夢→…という「好循環」に繋がっていくというのが「夢八訓」のメッセージだと思います。

逆を考えてみましょう（吉田松陰の「夢五訓」、渋沢栄一の「夢七訓」はこちらの表現に近いです）。

夢のない人は希望がない／希望のない人は目標がない／目標のない人は計画がない／計画のない人は行動がない／行動のない人は実績がない／実績のない人は反省がない／反省のない人は進歩がない／進歩のない人は夢がない

夢が見つからないと言って何もしないでいると、このような恐ろしい「悪循環」に陥ってしまいます。せっかくの人生ですから、そうならないように気をつけて下さい。

皆さんが4年間の大学生活で様々なことに挑戦し、より豊かな人間に成長されることを祈念します。

経済学部生へ

森 剛志

ハングリーであれ！バカであれ！

若い時代は、「人生まだまだ長い」と思います。大学生になったばかりには、「大学4年間はなんと長いのだろう」と思うでしょう。でも、振り返ると、毎日すぐ過ぎ去ることがわかります。1年生の時間が100とすると、2年生は70くらい、3年生は50くらいで、4年生は20くらいの長さを感じられるでしょう。

大学一年生のときには、できるだけ多くの人と友人になり、仲間作りをして、勉強しやすい環境をつくるといいと思います。

実は、人の幸せはいろいろなところに転がっているものです。学生時代には多くのお金はありませんが、実はそれが幸せだったりします。お金があつて、親から買ってもらった車をみせびらかせて乗りまわっている学生もいるかもしれませんが、決してこのタイプの人が幸福とは限りません。貧しさの中で、清貧を楽しむとき。しずかに読書して、知らない世界に思いをはせるとき。普段のなんでもない生活でも、幸せは数え切れなくあります。

人生では、うまくいかないことがあります。どうしようもないほどの屈辱をうけることもあります。でも、いつも心にバランスを持ってください。そして少しの勇気と情熱を持てれば、さらによいです。私が甲南大学に来ておどろいたことは、ほとんどの空き時間をバイトで埋めている学生が大半だったということです。（それと携帯とテレビ漬けということ。）

彼らは、自分の大切な青春を時給1000円で売っているのです。かわいそうでした。バイトもいいですが、のんびりとした何もない時間を十分つくって、読書と友人や先生との会話をして大学生活を満喫してください。何をしたらいいかわからないのですが、実はやれることはたくさんあります。これから2020年までは日本が絶好調の時代です。

みなさんはラッキーです。ですから、

ハングリーであれ！バカであれ！

未知に挑戦する、大学での学び

森本 裕

みなさん、ご入学おめでとうございます。これからどんな生活が待っているんだろう、どんなことを勉強しよう、とワクワクしていることと思います。

さて、高校までの勉強と、大学の学問はどう違うのでしょうか？一言でいうと、「答えがない問題の解決策を考える」のが学問です。高校までは、教科書の内容を覚えて、それを試験で書けば点数をもらえました。けれども、大学では自分で答えを発見しなければなりません。（誰も、解決策を知らないから。）

- ・日本経済がデフレから脱却するためにどうすればいいか？
- ・どうすれば地方を活性化することができるか？
- ・所得格差をなくす方法は何か？

日本社会は色々な課題に直面していますが、これらに対する処方箋は誰も知らないのです。だから、日本の将来を背負っていくみなさんが、どうすればいいのかを一生懸命考えなければなりません。そのための知識を身に付け、訓練するのが大学での学びです。授業で専門知識を学び、ゼミで先生や仲間と議論して、課題解決力を伸ばしてください。

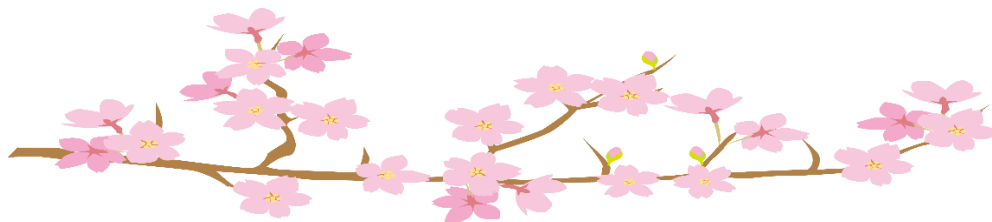
また、大学の中だけではなく社会や世界を幅広く知ることも大切です。旅行をするもよし、留学するもよし、ボランティアもよし、色々な経験をしてください。必ず将来、役に立つはずです。

もしみなさんが、専門知識と幅広い経験を兼ね備えれば、どんな場所でも生きていけます。大学生活で大きく成長して、日本を、世界を変える人材になってくれることを期待しています。

経済学部の先生方に質問！

(50音順)

青木 浩治先生	29	小山 直樹先生	53
足立 泰美先生	31	寺尾 健先生	55
石川 路子先生	33	中川 真太郎先生	57
石田 功先生	35	林 健太先生	59
稲田 義久先生	37	林 亮輔先生	61
上島 康弘先生	39	平井 健介先生	63
永廣 颯先生	41	宮川 敏治先生	65
岡田 元浩先生	43	村澤 康友先生	67
奥田 敬先生	45	森 剛志先生	69
小佐野 広先生	47	森本 裕先生	71
春日 教測先生	49		
高 龍秀先生	51		





青木 浩治 (あおき こうじ)

神戸大学経済学研究科博士課程

1. 先生の専門分野は何ですか？

国際経済学です。英語で書くと **International Economics**。横文字にすると、とてもカッコよく見えませんか？

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

国際投資ポジションの超過収益率の理論と実証。と言ってもよく分かりませんか？中国やロシア、サウジアラビア、韓国などは債権国と言って外国に対して借金以上の資産を持っているけど、その資産収益率はマイナス。逆にアメリカやイギリスといった国は債務国なのに対外投資で借入利息以上の収益を得ています。こうした世界各国の実態を明らかにし、その原因を追究しています。

3. 今後してみたい研究は何ですか？

上記の研究テーマ（継続中だから）。

4. 大学生活でしておいた方がよいことを教えて下さい。

1. 勉強の仕方を変える（これまでのアバウトな勉強ではなく、深く考えてみる。頭の引き出しの作り方を学ぶ）。
2. 打ち込むもの探す・実行する。
3. 恋愛かな？

5. お勧めの本はなんですか？

年齢のせい、最近、本を読むとすぐ眠くなるので、あまり読書していません。ごめんなさい。

6. 座右の銘はなんですか？理由も教えてください。

んー、何でしょうかネー！？諦めず粘って努力するかな？理由は特にありません。

7. 今後、注目すべきことは何ですか？（何でも可）

現在、日本経済は堅調だけど、それは多分に海外経済動向に依存しています。それがいつどのような展開で変わっていくかということに常に注意を払っています。甲南学園創始者の格言の一つが「常に備えよ」です。同感ですね！？

8. 新入生に一言お願いします。

一にも二にもまず「友達作り」。これに失敗すると真っ黒な大学生活になります。



足立 泰美 (あだち よしみ)

大阪大学大学院国際公共政策研究科

修士「国際公共政策」取得

大阪大学大学院医学系研究科

博士「医学」取得

大阪大学大学院国際公共政策研究科

博士「国際公共政策」取得

1. 先生の専門分野は何ですか？

財政学です。なかでも，地方財政および社会保障財政が専門です。

保健・医療・介護および雇用・出産・子育て政策の有効性を実証的に分析し，税・社会保険料の制度変更の影響をシミュレーションで検証しています。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

社会保障財政の財源と給付の視点から，中央政府，地方政府そして家計の立場から政策の有効性を検証しております。

3. 大学時代どのようにして経済学を学んでこられましたか？

知らぬこと，解らぬことが多い故に，貪るように書籍を読み続けました。

4. 最近気になった経済のニュースはなんですか？

何でしょう？？？ぜひ教えてください。

5. 実際、大学の先生となり（教育・研究の面で）気づいたやりがいはなんですか？

研究という探求心を全力で満たしつつ、行政という現場と机上との乖離を肌で感じながら、そして学んだことを教育という場でつぶやくこと。このバランスがやりがいですね。

6. 研究者・教育者人生の中で1番の思い出を教えてください。

自分の置かれている立場を弁え、時間と社会という制約のなかで、やらねばならないこと守らねばならないこと踏ん張らなければならないことを優先にしつつも、睡眠時間を惜しみ時間を逆算することで捻出した自分に許される時間を、自分の知りたいこと、学びたいこと、解きたいことを、沈黙という自由のなかで、地道な努力で邁進した修士・博士課程ですね。

7. 新入生に一言お願いします。

大学（生活）の良さは自由と責任です。そしてその先には人生の選択があります。そのため選択の仕方を身につけられたら良いですね。学生時代には楽しく好奇心が喚ばれる機会が沢山あります。しかしながら、時間的にも金銭的にも制約がありますよね。諸先生や友人の考え方や生き方を間近で見たり聞いたりするなかで、それら機会を通して何を実現させたいのか、あるいは目標をたて、その目標を叶えるには今何を選択し身につけておいたほうがいいのか。そして決断した後はそれに向かって邁進する生き方を学べたらよいですね。



石川 路子 (いしかわ のりこ)

神戸大学工学部卒業

神戸大学大学院自然科学研究科博士前期
課程修了

大阪大学大学院国際公共政策研究科博士
後期課程修了

1. 先生の専門分野は何ですか？

私の専門分野は「地域経済学」です。都市や地域の抱える課題がすべて研究対象になるので非常に幅広い分野です。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

現在の私のテーマは生活の質（Quality of Life）の地域間格差の分析です。人々の生活の質が地域によってどのように異なるのか、さらにその差がどのような要因によって生まれているのかを明らかにすることで、よりよい地域をつくるための方策を検討しています。

3. 大学時代どのようにして経済学を学んでこられましたか？

実は、大学では「建築」を専攻していたので、経済学についてはほとんど学んでいません。大学を卒業し、就職してから、社会の動きを学ぶ「経済学」の重要性に気づき、改めて大学院で学びました。経済学って難しそうですが、自身の考え方を整理したり、論理的に発言するための「基礎力」を高めてくれるので、ぜひ怖がらずに学んでみてほしいと思います。

4. 最近気になった経済のニュースはなんですか？

熊本市にある慈恵病院が国内で唯一「内密出産制度（臨まない妊娠を

した女性が匿名で出産できる制度)」を導入したという記事です(2019年12月7日)。この制度に応じた法改正は、解決すべき課題も多くまだまだ先の話になるようですが、より多くの子どもたち、女性が安心して過ごせる環境整備とは何かを改めて考えるきっかけとしては、大きなニュースの一つだと思います。

5. 実際、大学の先生となり(教育・研究の面で)気づいたやりがいは何ですか？

一般企業に比べ、利害関係に縛られることなく、地域と有機的なつながりを持つことができるのは、大学の大きなメリットだと思います。大学生と地域をつなげることで、多様な角度から地域貢献ができるという点にやりがいを感じています。

6. 研究者・教育者人生の中で1番の思い出を教えてください。

私のゼミでは、地域の方々とさまざまな形で関わりながらプロジェクトを進めていきますが、以前、地域の方々から叱責を受けたことがありました。その際に、落ち込んだ私を全力で慰めてくれたのがゼミ生でした。この経験は、私自身が「完璧な」教育者を目指すのではなく、ゼミ生とともに互いに切磋琢磨できる環境を作りたいと思うようになったきっかけです。

7. 新入生に一言お願いします。

大学生になると「新しい自分」を発見するチャンスが広がります。このチャンスを生かすかどうかは本人次第。大学入学という、一つの大きな節目の時に、自分が将来どんな人間になりたいのかを改めて考え、ぜひ自分の夢に一步でも近づくよう、さまざまなことに積極的にチャレンジしてみてくださいね。皆さんのこれからの4年間で充実したものになることを心から願っています。



石田 功 (いしだ いさお)

Ph.D., Economics,
University of California, San Diego

1. 先生の専門分野は何ですか？

金融市場データの統計分析の方法の開発と金融市場の実証分析です。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

株価や為替レートが明日上昇するのか下落するのかを予測することは極めて難しいですが、市場価格変動の激しさ（これをボラティリティと呼びます）は過去データ分析からかなりの精度で予測できます。金融リスク管理において重要なこのボラティリティ予測の精度向上方法の開発が主な研究テーマです。

3. 大学時代どのようにして経済学を学んでこられましたか？

英語の勉強のために購読していたタイム誌の経済記事に理解できない部分が多く、入門的教科書から読み始めたのですが、経済学が面白くて夢中になりました。大学時代の専攻は経営学でしたが、経済学の応用が求められる分野の仕事をしていたので、卒業後も独学で勉強しました。経済学を体系的に勉強したのはその後、大学院生になってからです。

4. 最近気になった経済のニュースはなんですか？

Brexit、米中貿易摩擦、金融技術（フィンテック）、AI 等、経済に関するニュースはすべて気になりますが、背後にある社会の大きな潮流

の変化（もしくは個々の現象がこれから引き起こすかもしれない潮流の変化）が何かが最も気になります。

5. 実際、大学の先生となり（教育・研究の面で）気づいたやりがいとはなんですか？

学生の皆さんと接していて、大学4年間は人が子供から大人に大きく成長する時期というのを実感します。私自身がその過程に何か貢献しているということはないかもしれませんが、見違えるほど立派な大人になった上級生や社会で活躍する卒業生とお話するときは嬉しく感じます。研究面でのやりがいについては特に想定外のサプライズはなかったです。

6. 研究者・教育者人生の中で1番の思い出を教えてください。

これが1番というものはないですが、教育面では前述の通り、研究者としては多くの国の研究者と交流を持てたことが思い出です（特に親しくなった人達とは今も交流していますが）。

7. 新入生に一言お願いします。

4年間、しっかり勉強して下さい。



稲田 義久 (いなだ よしひさ)

昭和 51 年 3 月 神戸大学経済学部卒業

昭和 56 年 3 月 神戸大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得

平成 4 年 12 月 博士(経済学)(神戸大学)

神戸学院大学、立命館大学を経て現在に至る

1. 先生の専門分野は何ですか？

経済予測や環境問題の分析です。最近は関西の成長戦略に興味があります。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

超短期予測モデルの開発と予測

ビッグデータの予測への利用

府県 GRP の早期推計

観光インバウンドの個票分析

3. 大学時代どのようにして経済学を学んでこられましたか？

先生が講義で指摘された参考文献のほとんどすべてを読む癖をつけました。そこからおのずと経済学の体系が理解できたかなと思います。

4. 最近気になった経済のニュースはなんですか？

米中貿易戦争の行方、消費増税時の駆け込み需要と反動減

5. 実際、大学の先生となり（教育・研究の面で）気づいたやりがいはなんですか？

時間をかけてコツコツとやってきた自分の研究やその成果が評価された時です。

6. 研究者・教育者人生の中で1番の思い出を教えてください。

米国ペンシルベニア大学、L.R.クライン教授のもとで知的な研究生生活を送れたことです。

7. 新入生に一言お願いします。

1 回生の時は大学での生活が日々の中心となるように心掛けてください。まず講義に出て食堂でランチをとりまた講義に出る生活です。これを繰り返すうちに、多くの友達ができます。様々なタイプの友人作りに心がけてください。例えば、能力ではとてもかなわないが、自己向上には良い友達。発想がよく似ていていろいろなことを議論できるタイプ。卒業を確実にするために必要なタイプ等々。数は少なくともバラエティーに富んだ友人を作ってください。



上島 康弘（うえしま やすひろ）

一橋大学経済学部卒業（1981年）、大阪大学
経済学研究科修了（1988年）。

1. 先生の専門分野は何ですか？

労働経済学。技術進歩やグローバル化などの現状や、さまざまな法規制のなかで、労働条件（給料や労働時間など）がどのように決まるのかを考える分野です。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

「人」と「職務」の結びつきのゆるやかな日本型雇用が今後、欧米のような職務限定型雇用に近づくのかに興味があります。そうなれば、必然的に長期雇用を前提とした新卒一括採用・人材育成・内部昇進という制度は見直されます。そして、大学でも、具体的な職業教育をカリキュラムに取り入れざるを得なくなるでしょう。

3. 大学時代どのようにして経済学を学んでこられましたか？

問題意識からスタートしたと言うより、大学と大学院でリスペクトできる先生に出会って、その分野をなんとか理解しようとしているうちに学問が面白くなったというのが実情です。大学1年生のときに数学の先生に恵まれて、1年間休学して代数やトポロジーなどを勉強しました。それからはずっと苦しくてたのしかった。

4. 最近気になった経済のニュースはなんですか？

吉野彰さんのノーベル賞授賞と、中村哲さんのアフガニスタンでの殺害事件が同時に報じられて、人生について考えさせられました。出来事は対照的ですが、自らの人格と能力を育てて人の役に立ち、周囲の人に慕われているところは共通しているなど、日暮れて道遠し。

5. 実際、大学の先生となり（教育・研究の面で）気づいたやりがいはなんですか？

文章は、作文した人の頭の中のレントゲン写真だと思います。ゼミの早い時期に「文章の書き方」を教えて小レポートを書いてもらい、私が添削してもう一度、書き直してもらおう。そうすると、3年生の後期には筋の通った、よどみのない文章を書くようになります。これで就活のスタートラインに立てるし、職場で恥をかくこともないだろうと、ひと仕事を終えた気持ちになります。

6. 研究者・教育者人生の中で1番の思い出を教えてください。

昔の話になりますが、担当したクラスには勉強嫌いな学生が多くいて、私がレポートを添削して返すと、ある学生は目の前でそれを丸めてゴミ箱に捨てました。私にはそのような学生を育てる気概がなかったので、転職を決意しました。今思い返すと、だからと言って成績のいい学生を選別するようなクラス分けをしなかったことには誇りをもてますが、他方で自分から逃げ出したという後ろめたさも覚えます。

7. 新入生に一言お願いします。

まず、ちゃんと食べてしっかり寝ること。次に、スマホやパソコンの画面を閉じて、たくさんの「人」に出会い、たくさんの「本」を読んで、たくさんの「旅」に出ること。最後に、自分の書いたレポートを添削してくれるゼミに入ることをすすめます。人生を無駄にするな。



永廣 顕 (えひろ あきら)

東京大学大学院経済学研究科博士課程

1. 先生の専門分野は何ですか？

財政金融論、財政金融史が専門分野です。特に、財政と金融の境界領域といえる公債や財政投融资を中心に研究しています。また、社会保障（年金・医療保険など）についても研究しています。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

現代日本の財政・金融政策の政策形成過程を解明することを研究テーマにしています。現代日本の財政・金融政策の特質は 1910 年代後半から戦時期にかけて形成されたのではないかという問題関心があり、大学院時代から研究を続けています。

3. 大学時代どのようにして経済学を学んでこられましたか？

経済学の中で「興味のある」分野については、講義を毎回きちんと聴講し、テキストや参考文献を熱心に読みました。「興味のない」分野については、当時は出席確認やレポート・小テストの類いもなかったのでテキトーでしたが、今となってはきちんと勉強しておけばよかったと少し後悔しています。あとは、新聞や雑誌の記事、ニュースを毎日チェックしていたことぐらいでしょうか。

4. 最近気になった経済のニュースはなんですか？

イギリスの総選挙の結果、イギリスの EU 離脱の可能性が高まったことです。かつて1年間ロンドンで生活していたこともあるので、イギリス国内企業や日本企業への影響が気になります。

5. 実際、大学の先生となり（教育・研究の面で）気づいたやりがいは何ですか？

研究にしても、教育にしても、自分の思いどおりに進まない、動かないといった悪戦苦闘することが多いですが、諦めずに自分なりに工夫をして取り組んでいけばわずかでも進展や向上が見られる、感じるができるところにやりがいがあると思います。

6. 研究者・教育者人生の中で1番の思い出を教えてください。

1番をあげるのは難しいです。研究者としては、初めて論文が学術雑誌に掲載されたこと、初めて学会発表をしたこと、偉い先生方が集まったセミナーで思いのほかうまく発表、質疑応答ができたことなどです。教育者としては、毎年の卒業式の日ゼミで頑張ってきた学生たちが社会に旅立っていくのを見送ることができることです。

7. 新入生に一言お願いします。

勉強やクラブ・サークル活動など、「甲南大学」の中で自分の興味、関心を見つけて、4年間それに精一杯打ち込みましょう！大学の授業は難しいと思いますが、前向きに取り組むことでもの見方が広がり、必ず自身の成長につながると思います！



岡田 元浩（おかだ もとひろ）

同志社大学院経済学研究科博士課程（後期）
中退

1. 先生の専門分野は何ですか？

経済学の歴史。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

労働学説の史的展開に関する批判的検討に取り組んでいます。

3. 大学時代どのようにして経済学を学んでこられましたか？

私は文学部生でしたので、まとまった経済学の勉強はほとんどしませんでした。しかし、もし経済学部生だったら、おそらく経済学部教員にはなっていなかったでしょう。

4. 最近気になった経済のニュースはなんですか？

中国・アメリカの貿易戦争。経済戦争で終わるのか。

5. 実際、大学の先生となり（教育・研究の面で）気づいたやりがいは何ですか？

多くは（全部ではないが）自分の意向に基づいて仕事ができること。

6. 研究者・教育者人生の中で1番の思い出を教えてください。

良き師、同僚、学生にめぐりあえたこと。

7. 新入生に一言お願いします。

大学4年間は人生を通じて最も自由で輝きに満ちた時代といえます。ですから、この4年間にしかできないこと（その中身は人それぞれです）を、存分に行ってください。



奥田 敬 (おくだ たかし)

1958年生。

慶應義塾大学大学院経済学部研究科博士
課程単位取得退学

一橋大学社会科学古典資料センター助手

1. 先生の専門分野は何ですか？

経済学史／社会思想史／南イタリア近代史

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

(40年来の見果てぬ課題ですが)「18世紀ナポリ啓蒙」

もう少し具体・個別・現代的に言えば、アダム・スミスから始まる
(とされている)のとは違う〈経済学〉の可能性(初心)の探求。

3. 大学時代どのようにして経済学を学んでこられましたか？

正直なところ経済学部に入ることは全くの想定外でした。

ですから、とにかく見様見真似で手当たり次第に書物を漁ってきた
というのが実状です。

ただ、《Historia magistra vitae》(歴史は人生の師)というキケロの
教えや《學問は歴史に極まり候事に候》という『徂徠先生答問書』の
一節に励まされ、人類史的な視点から経済を捉え直そうと努めてきた
つもりです。

4. 最近気になった経済のニュースはなんですか？

時事には疎いのでお答えは差し控えさせていただきます。でも、「経済学」の命数ということだけはいつも気に懸かっています。

5. 実際、大学の先生となり（教育・研究の面で）気づいたやりがいは何ですか？

時折《後生畏る可し》という言葉を実感できることでしょうか。

6. 研究者・教育者人生の中で1番の思い出を教えてください。

修士の時と教師に成り立ての頃に過ごしたナポリでの留学生活。
〈Umanesimo〉（人文主義）の真髄に触れることができました。

7. 新入生に一言お願いします。

Segui il tuo corso, e lascia dir le genti!

《おまえの道をいけ。人々には言わせておけ。》

（マルクス『資本論』序文の結句、cf.ダンテ『神曲』煉獄篇 5:13）



小佐野 広（おさのひろし）

京都大学経済学部卒業

大阪大学大学院経済学研究科で博士取得
滋賀大学経済学部、大阪大学大学院国際公
共政策研究科、京都大学経済研究所等で勤
務

1. 先生の専門分野は何ですか？

コーポレート・ファイナンス、コーポレート・ガバナンス、情報の経済学

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

情報の経済学の理論的・数量的分析手法を応用して、フィンテック、ESG（環境・社会・ガバナンス）投資、行動ファイナンスなどの新しい分野の問題を研究すること。

3. 大学時代どのようにして経済学を学んでこられましたか？

私が学生時代に在籍していた京都大学経済学部は近代経済学の主流派の授業が非常に少なかった関係で主として独学で勉強し、その一方で近代経済学者が集まっている経済研究所の先生方が（単位にはなりません）ボランティアで自主ゼミのようなものやってくれていたもので、それに参加していました。

4. 最近気になった経済のニュースはなんですか？

新型肺炎が世界経済に与える影響と、それからオーストラリアの森林火災の経済的影響です。

5. 実際、大学の先生となり（教育・研究の面で）気づいたやりがいとはなんですか？

教育面では、教えた学生や大学院生が一人前になってくれることです。

6. 研究者・教育者人生の中で1番の思い出を教えてください。

今の時点で振り返ると、どれが一番の思い出とかいうのはなくて、いろいろなところでの自分の研究発表はどれも思い出となっています。

7. 新入生に一言お願いします。

私の高校時代に、その高校の卒業生で大きな銀行の頭取になっている方が高校に講演にやってきて、「自由に考え自由に行動しその責任は自分で取れ」といわれたことを思い出しました。この言葉を、そのまま、新入生の方々への一言とします。



春日 教測 (かすが のりひろ)

横浜国立大学 大学院国際社会科学研究所
博士課程 (産業組織論、経済政策)

1. 先生の専門分野は何ですか？

産業の競争状況や企業の戦略を、データに基づき実証的に検証することです。テレビや新聞で日常接するニュースで知る内容には、どのような経済合理性があるのか等を考えることは、良い頭のトレーニングになっていると思います。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

メディア産業および情報通信産業焦点を当てて、以下のようなテーマについて分析しています。

- ・テレビや新聞等のメディアが伝える情報が人々の行動に与える影響
- ・情報通信分野の新しいサービスに関する人々の選好

3. 大学時代どのようにして経済学を学んでこられましたか？

大学時代は普通の学生で特別な勉強をしていた訳ではなく、就職して公務員になりました。ただ当時は一時的にシンクタンク・ブームがあり、就職先で最初にそのような部署に配属されました。それがきっかけとなって、本腰を入れて経済学を再び勉強するようになりました。

4. 最近気になった経済のニュースはなんですか？

NHK による、テレビ放送とインターネットの「常時同時配信」の動向。2020年の東京オリンピックまでにNHKはこの体制を通常のもの

にしようとしています。いまのところ「ネットのみ」の視聴者には受信料支払は義務化されていませんが、最高裁で「受信契約義務付けは合憲」と判断されたこともあり、今後どう転ぶか分かりません（ネットでNHKを視聴できれば、つまりスマホを持っていれば、皆さん個人にも受信料支払が義務化される可能性もあります）。大変身近な話題でもあるので、関心をもって頂けると嬉しいです。

※なおこの話は、2018年度の「入門のしおり」から継続して書いています。

5. 実際、大学の先生となり（教育・研究の面で）気づいたやりがいはなんですか？

教育面では、やや複雑な内容を説明する際、どうすればよりよく分かってもらえるか工夫することが面白いと思うようになりました。自分が考えた説明で「よく分かった」との感想を授業評価で見つけると嬉しいですね。

研究面では、自分が考えた研究を個人名で発表できる点は、組織内のチームで働く場合と比べて頑張るインセンティブがあります。もっとも責任も個人で負う必要がありますので、良い面ばかりではないかもしれません。

6. 研究者・教育者人生の中で1番の思い出を教えてください。

2018年9月から1年間、外国の大学で勉強する機会を頂きました。研究内容は行く前も滞在中も同一ですが、異なる文化圏の教育システムを知ったり、その土地の人々と交流したりしたことは、価値ある体験だったと思います。今後、何らかの形でこの経験を還元できればと思っています。

7. 新入生に一言お願いします。

大学は一方的に教わる場ではなく、講義に対する質問や意見、ゼミでの議論等を通じて共に学ぶ場でもあります。これから4年間、一緒に経済学を勉強していきましょう。



高 龍秀 (こう・よんす)

1984年に大阪府立大学を卒業し、1991年
大阪市立大学大学院を修了。

1. 先生の専門分野は何ですか？

国際経済学とアジア経済です。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

サムスン電子など韓国の企業を研究しています。

3. 大学時代どのようにして経済学を学んでこられましたか？

大学時代に、読んで感動した経済の本を繰り返し読みました。その著者の先生が近くの大学の先生だったので、授業を受けに行き、その先生の大学院で学びました。

4. 最近気になった経済のニュースはなんですか？

日本と韓国の貿易規制などの摩擦問題です。もう少し冷静に、両国にプラスになるような政策が行われるべきではないかと考えています。

5. 実際、大学の先生となり（教育・研究の面で）気づいたやりがいとはなんですか？

日々、若い学生の皆さんと話をし、学ぶことでエネルギーとやりがいをもたらしています。

6. 研究者・教育者人生の中で1番の思い出を教えてください。

ゼミで頑張っていた学生の結婚式に出た事でしょうか。

7. 新入生に一言お願いします。

大学時代に大切な友達を作りましょう。

大学時代に打ち込める何かを見つけましょう。

世代を超えて、いろんな人と話をすることはとても大切です。

授業で先生の話をよく聞くこともその意味で重要です。

授業にちゃんと出て先生の話をよく聞きましょう。



小山 直樹 (こやま なおき)

名古屋市立大学大学院経済学研究科博士
課程後期課程修了

1. 先生の専門分野は何ですか？
統計学、経済統計学、および計量経済学です。
2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？
授業改善アンケートデータの分析を行っています。
3. 大学時代どのようにして経済学を学んでこられましたか？
教科書を読み込む。例題や練習問題を何度も解く。解からないことは担当の先生にしつこく質問する。
4. 最近気になった経済のニュースはなんですか？
米中間で貿易紛争にいったんの決着が着きそうだというニュース。

5. 実際、大学の先生となり（教育・研究の面で）気づいたやりがいは何ですか？

モデルをこねくり回すことに深い楽しみを感じるようになりました。

6. 研究者・教育者人生の中で1番の思い出を教えてください。
全部です。

7. 新入生に一言お願いします。
マイペースで行こう！



寺尾 建（てらお・たける）

1991年 京都大学経済学部 卒業

1996年 京都大学大学院経済学研究科 修了

1. 先生の専門分野は何ですか？

——マクロ経済学です。甲南大学経済学部では、「入門マクロ経済学」「中級マクロ経済学」「上級マクロ経済学Ⅰ」というように、マクロ経済学に関する講義のすべてを担当しています。詳しいことはシラバスに書いてありますので、ぜひ、一読してみてください。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

——上でも書いたように、専門分野はマクロ経済学なのですが、経済学を学び始めた頃から、経済学に特有の理論的な問題——ひらたく言えば、経済学に特有の「考え方」です——に強い関心があり、ここ数年は、「経済学は、なぜ数学的になったのか？」「経済学が数学的であることには、どのような意味や意義があるのか？」という問題について考えて続けています。

3. 大学時代どのようにして経済学を学んでこられましたか？

——将来は研究者になることを志して大学に進学したこともあったので、授業は、あくまでも「入口」として位置づけて、「経済」や「経済学」という言葉をタイトルに含む本を自分で探して、手当たり次第に読みました。アルバイト代はほとんど、本を買うために使いました。

4. 最近気になった経済のニュースはなんですか？

——2019年の8月まで知らなかったことでいえば、「スターバックスは金融王者である」というニュースです。どういうことなのかといえ、スターバックスは、プリペイドカード（ぼくも持っています）の発行を通じて、総額にして1,700億円ほどの資金を調達しているそうです。つまり、プリペイドカードを購入したり、チャージしたりするたびに、ぼくたちは、スターバックスに無利子でおカネを貸していることになり、その合計額が1,700億円ほどになるということです。しばらく前から、話題になるのは「〇〇フラペチーノ」みたいなものばかりなので、「スターバックスは、もはやコーヒー屋さんではない」とは思っていました、が、「スターバックスは、すでに金融業である」と考えたことは一度もなかった、とても印象的なニュースでした。

5. 実際、大学の先生となり（教育・研究の面で）気づいたやりがいはなんですか？

——日常的なことといえば、自分が言った冗談で学生のみなさんが笑ってくれると、とても嬉しくて、いつも、「その他のことはぜんぶ、どうでもいいや」という気分になってしまいます。

6. 研究者・教育者人生の中で1番の思い出を教えてください。

——2013年の2月に、担当するゼミの開講10周年記念の集まりを1泊2日で行いました。卒業生と現役生あわせて120名以上が集まって、とても楽しい時間を過ごしました。ちなみに、開講20周年記念の集まりは、2023年の2月に予定しています。今年の新入生のみなさんが4回生になる前の春休みのとき、ということになりますね。

7. 新入生に一言お願いします。

——大学は、「最後の学校」です。大学の4年間を通していろいろなことに挑戦をして、先生からだけではなく、どんな人からも学ぶことができる力を身につけて卒業してください。



中川 真太郎 (なかがわ しんたろう)

京都大学大学院 経済学研究科
博士後期課程 修了

1. 先生の専門分野は何ですか？

公共経済学です。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

公共財の研究です。公共財というのは、対価を払った人も払わない人も誰でも利用でき（非排除性）、また、ある人が利用しても、他の人もそれを同じように利用できる（非競合性）という2つの性質を持つ財を言います。「そんなものが現実にあるのだろうか」と思うかもしれませんが、しかし、たとえば、地球の自然環境がもたらす恩恵は、世界中誰もが利用できますし、また、ある人が利用したからと言って他の人が利用できるわけではありません。そのため、地球環境は公共財の1つです。この他にも様々な問題が公共財の性格を持っています。私は、この公共財の理論を用いて、地域の防災や国際社会の安全保障など、現実の様々な問題を分析する研究に取り組んでいます。

3. 大学時代どのようにして経済学を学んでこられましたか？

経済学だけでなく関連分野や一般教養なども幅広く授業に出席するとともに、ゼミで論文を執筆したり、ディベートをしたりしました。

4. 最近気になった経済のニュースはなんですか？

たとえば、ブレクジットを巡る英国の動向、米中の貿易紛争、アメリカと北朝鮮の交渉の行方、香港の民主化運動、アメリカとイランの対立の行方、気候変動と関連しているとみられるオーストラリアなどでの森林火災、日本では財政の動向、それから、桜を見る会問題など政府の腐敗に関連したニュースが気になっています。

5. 実際、大学の先生となり（教育・研究の面で）気づいたやりがいは何ですか？

一言では書き切れません。

6. 研究者・教育者人生の中で1番の思い出を教えてください。

個人的な内容ですのでお答えできません。

7. 新入生に一言お願いします。

モンゴルの国旗には魚のような絵が描かれています。海のない国の国旗になぜ魚が描かれているのか。それは一説によると、魚はまぶたがなく常に目を開いている、国民も常に目を開いて国を守れ、という意味だそうです（他の説明もあるようです）。

人類の歴史は、長期的に見れば野蛮な社会から理性的で自由な社会へ進んでいますが、その中では何度も、野蛮な社会・欺瞞に満ちた社会への退行が起こっています。インターネット等で見たい現実だけを見るのではなくて、社会に広く目を向け、現実の政治や経済に関心を持つとともに、経済学や政治学、哲学などから人類の叡智を学んで欲しいと思います。



林 健太 (はやし けんた)

本山第三小 → 本山中 → 報徳学園高 →
神戸商科大学 商経学部 管理科学科 →
大阪大学 大学院 国際公共政策研究科

1. 先生の専門分野は何ですか？

情報通信経済学（コンテンツビジネス論）ということにしておきます。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

大学院進学以降、ずっとデジタルなことを追いかけてきました。とりわけ、IT 産業特有の課題について、主にハードウェアやインフラの普及という側面から研究をしてきたのですが、現在は、どちらかといえばソフトウェア（コンテンツ）の方に関心があります。

中でも、観光というアナログな体験を、幅広い意味でのコンテンツの一つと捉え、日本へのインバウンド客の促進やカジノ導入のあり方を探っています。他にも e スポーツの普及などにも関心があります。

3. 大学時代どのようにして経済学を学んでこられましたか？

大学時代は経済学部では無かったので、一般教養の経済学しか学んだことはありませんでした。

大学 2 年生の冬に阪神・淡路大震災が発生し、期末試験が行われること無く成績が付いたのですが、そのとき、唯一単位が取れなかった科目が、経済学です（笑）

4. 最近気になった経済のニュースはなんですか？

Zホールディングス（ヤフー）とLINEの統合です。いわゆるPayPayとLINE Payが一緒になるかも、というニュースです。また、これに呼応するかのように、KDDIとローソンが資本業務提携を結び、両社のポイントを統合することを発表しましたね。

5. 実際、大学の先生となり（教育・研究の面で）気づいたやりがいは何ですか？

年に一度、インナーゼミナール大会というゼミ研究発表大会が学内であるのですが、それに向けて、4年生と一緒に合宿をしたりしながら、発表を作り上げていく過程が、すごく楽しいです。

彼らとの絆が強くなるのを感じますし、何より、その発表を褒められて、彼らが表彰されることは、自分の研究がうまくいくこと以上の価値があると考えています。

6. 研究者・教育者人生の中で1番の思い出を教えてください。

2009年から1年間、アメリカのカリフォルニア州にある、UCバークレーという大学に行かせてもらったことです。素晴らしい環境で妻と二人過ごさせて貰ったことは、何物にも代えがたい思い出です。

今年の9月より1年間、アメリカのユタ州にあるウィーバー州立大学に行く予定ですので、また、新たな環境で色々な刺激を受けてきたいと思います。

7. 新入生に一言お願いします。

インターネットで容易に情報にアクセスできる時代だからこそ、あえて、コストのかかる経験を積んでいただきたいと思います。家から1時間かけて大学に通うのもコスト。新たな人間関係を築くのもコスト。旅行や留学に行くのもコスト。彼氏・彼女に振られるのも、株式投資で失敗するのも、就職面接で赤っ恥をかくのも、全てコストです。皆さんの大学生活が少しでも豊かになるお手伝いが出来れば幸いです。



林 亮輔（はやし りょうすけ）

関西学院大学経済学部卒業

関西学院大学大学院経済学研究科

博士課程前期課程修了

関西学院大学大学院経済学研究科

博士課程後期課程修了

1. 先生の専門分野は何ですか？

専門分野は「公共政策」です。公共政策とは「民間部門では解決することのできない公共的問題を解決するために公共部門が実施する政策」のことですが、公共部門の中でも地方自治体や国に焦点を当て、地方自治体や国が実施する公共政策について研究しています。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

グローバル化、少子高齢化、東京一極集中といった社会経済環境の変化の中で、多くの地域が衰退し、中には持続可能性すら危ぶまれている地域も存在します。持続可能な地域経済システムの構築という目的のもと、地域経済力の強化や、地域政策の担い手である地方自治体の行政運営の効率化を柱として研究を進めています。

3. 大学時代どのようにして経済学を学んでこられましたか？

経済学の基本的な考え方については主に講義で学びましたが、経済学の面白さ、研究の楽しさという面については、多くをゼミ活動の中で学びました。所属していたゼミはグループ活動が中心だったため、授業の空き時間や授業終了後に集まり、本を読み、ディスカッションをしながら知識を深めていきました。様々な事に疑問を抱き、自ら調べ、自分の考えを主張する事が大好きな友人に恵まれた事が幸運でした。

4. 最近気になった経済のニュースはなんですか？

日本経済新聞に掲載された「一極集中の是正進まず 地方創生戦略、目標据え置き（2019/12/19）」というニュースです。2014年に策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、20年までに東京圏の人口の転出入を均衡させる目標を明記したにも関わらず、東京一極集中の是正は進んでおらず、むしろ一極集中がさらに進んでいるというものです。東京一極集中はどのような原因で引き起こされるのか、東京一極集中は問題なのか、問題であるとすればどうすれば解決できるのか、これからの社会を担う皆さんにも考えてもらいたいニュースです。

5. 実際、大学の先生となり（教育・研究の面で）気づいたやりがいはなんですか？

教育面：研究やグループ活動のマネジメント等に対して試行錯誤をしながら積極的に立ち向かった学生の顔を見ると、あどけなさが消え大人の顔つきに変わっています。顔つきが変わった学生を一人でも多く見る事が、教育面でのやりがいです。

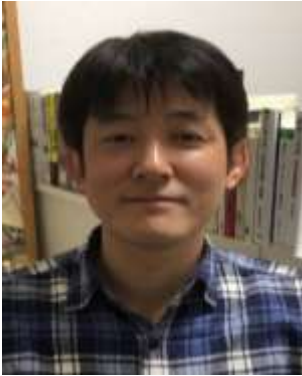
研究面：専門分野の関係上、地方自治体や国の方と一緒にあって課題解決の方法を考える機会があります。その際、自分自身の研究成果を踏まえながら課題解決策を考える事で、研究成果が現実社会に少しでも還元されるという事が、研究面でのやりがいです。

6. 研究者・教育者人生の中で1番の思い出を教えてください。

まだ研究者・教育者人生が始まったばかりですので、1番の思い出を選ぶには早すぎる気もします。いつかこの質問に答えられるよう、これが1番だと思える経験をしたいと思います。

7. 新入生に一言お願いします。

大学では皆さん自身に時間の使い方が委ねられています。したがって、時間をどのように活用するかで今後の人生が大きく変化します。そのことを常に心に留めておいてください。



平井 健介 (ひらい けんすけ)

慶應義塾大学大学院経済学研究科博士課程修了・博士（経済学）

1. 先生の専門分野は何ですか？

経済史（日本植民地経済史、近代アジア経済史）

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

日本植民地経済史：「植民地の産業化における技術の影響」というテーマで、技術者に焦点を当てて研究しています。

近代アジア経済史：「アジアのなかの阪神」というテーマで、近代アジアで芽生えた新しい生活・思考様式の具現化に、阪神地域で生産された雑貨がどのように寄与したかを研究しています。

3. 大学時代どのようにして経済学を学んでこられましたか？

私の専門は経済史で、経済学というよりも歴史学が主要な学問領域です。したがって、経済学は教科書を用いてしか学んでいません。大学4年生の時に大学院入試に向けて、マクロ経済学は勉強しました。

4. 最近気になった経済のニュースはなんですか？

岡本近辺の飲食店にどうやら人手不足の波が来ているらしいということですね。人手不足というよりも熟練の不足といった方がいいですね。新入り 3 人より熟練 1 人の方が客を捌きますからね。

5. 実際、大学の先生となり（教育・研究の面で）気づいたやりがいはなんですか？

『広辞苑』（第五版）で「やりがい」の意味を調べると、「するだけの値打ち」とあります。この意味に沿って、「教育するだけの値打ち」は何かと問われれば、日本植民地研究やアジア史研究の成果を、大学生という、まだ頭の凝り固まっていない世代に伝えられる機会があるということです。「大学の先生」になってから気づいた「研究するだけの値打ち」はありませんね。研究の値打ちは先生になる前から気づいていますから。

6. 研究者・教育者人生の中で 1 番の思い出を教えてください。

「研究者人生」の中での思い出はたくさんありすぎて、1 つに絞ることはできません。「教育者人生」の中での 1 番の思い出は、非常勤講師という身分ではありましたが、母校の教壇に立って後輩に向かって講義したことです。「研究者・教育者人生」の中での 1 番の思い出は、甲南大学の研究室に入った時です。

7. 新入生に一言お願いします。

今よりも幼かった頃の「過去のあなた」や、大学に進学しなかったら現在こうなっていたであろう「〇〇のあなた」に対して、自信をもって会うことができる「大学生のあなた」でいてください。



宮川 敏治 (みやかわとしじ)

経歴をご記入ください

関西学院大学経済学部卒(1993年)

関西学院大学大学院修了

静岡大学専任講師

神戸大学大学院助教授

大阪経済大学准教授・教授

2020年4月より甲南大学に赴任

1. 先生の専門分野は何ですか？

ゲーム理論です。特に、協力によって発生した利益をどのように配分するか、誰と協力関係を結ぶかについての戦略的な駆け引きを考察する交渉ゲーム理論を研究しています。また交渉ゲーム理論を応用した研究（自由貿易協定や政治同盟）も行ってきました。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

1. 非協力提携形成交渉ゲーム理論の応用（労使賃金交渉、企業提携）
2. 非協力交渉ゲーム理論による価格・競争・情報戦略の研究
3. 非分割財配分、学校選択マッチングのメカニズム・デザイン

3. 大学時代どのようにして経済学を学んでこられましたか？

最初は、資格（税理士）の勉強をしていましたが、経済学自体に魅力を感じ、大学3年生のときに研究者の道に進むことを決意しました。関西学院大学の学生でしたが京都大学や神戸大学の大学院の研究室に参加していました。経済学はもちろんですが、数学と哲学をよく勉強しました。

4. 最近気になった経済のニュースはなんですか？
- ・ 米トランプ政権が地球温暖化防止のための世界的枠組みである「パリ協定」からの離脱を正式通告(2019/11/05)
 - ・ 世界保健機構(WHO)の年次総会で、加盟国が医薬品価格の透明性改善を目指す決議を採択(2019/05/21)
 - ・ 2011-12年にアメリカ・ニューオリンズで Top Trading Cycles に基づく学校選択制度が実施
(どれも論文を書くためのネタです。。。)
5. 実際、大学の先生となり（教育・研究の面で）気づいたやりがいはなんですか？
- ・ 毎年、ゼミ生とグループ研究をして、その成果をプレゼン大会に出場し、報告しています。その中での学生の成長する姿を見ることはやりがいを感じています。
 - ・ 研究をすること自体が楽しいですが、成果を国際的な学術雑誌に掲載することも付随的なやりがいになっています。
6. 研究者・教育者人生の中で1番の思い出を教えてください。
- （研究者として）ゲーム理論の研究集会で John Nash 教授の隣で報告を聞いたこと。学会主催の Aumann 教授の 80 歳の誕生パーティーで Maskin 教授の話聞いたこと。
- （教育者として）ゼミ生がプレゼン大会の準備のため何ヶ月も朝から晩まで取りくんでいる姿を見るのは（毎年のことですが）良い思い出となっています。
7. 新入生に一言お願いします。
- 大学生の間に何でも良いので一生懸命になれるものを見つけてみてください。経済学を学ぶことを通じて何かしたいという気持ちになったら、ぜひ相談に来てください。力になります。



村澤 康友 (むらさわ やすとも)

京都大学経済学部卒、同経済学研究科修士課程修了、(株)三菱総合研究所勤務、ペンシルベニア大学経済学研究科博士課程修了、京都大学経済研究所講師、大阪府立大学経済学部助教授・教授を経て現職

1. 先生の専門分野は何ですか？

経済統計、応用計量経済学

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

景気の計測、インフレ期待の計測

3. 大学時代どのようにして経済学を学んでこられましたか？

3年次後期から公務員試験のために独学で勉強を始めました。1年次からちゃんと勉強しておくべきだったと今は反省しています。

4. 最近気になった経済のニュースはなんですか？

おそらく日本も麻薬合法化に向かうと思うので、その関連のニュースが気になります。

5. 実際、大学の先生となり（教育・研究の面で）気づいたやりがいはなんですか？

学者は論文を書くことが自己実現だと思っています。

6. 研究者・教育者人生の中で1番の思い出を教えてください。

初めての論文がビギナーズブラックで権威ある雑誌に掲載が決まったとき、やっとこの仕事で食べていけると思いました。

7. 新入生に一言お願いします。

いろんな経験をして下さい。それが人生の財産です。



森 剛志（もり たけし）

1970 年生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業、京都大学大学院経済学研究科博士課程修了（博士号取得）。日本学術振興会特別研究員を経て、甲南大学経済学部教員。
主な著書「日本のお金持ち研究」（共著）、
「日本のお医者さん研究」（共著）。

1. 先生の専門分野は何ですか？
家計の経済、健康経済、行動経済
2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？
健康格差。経済格差。人の非合理的な行動
3. 大学時代どのようにして経済学を学んでこられましたか？
友人と議論して。自分で勉強して。
4. 最近気になった経済のニュースはなんですか？
米中貿易戦争の話題

5. 実際、大学の先生となり（教育・研究の面で）気づいたやりがいとはなんですか？

どこまでうまく教えられるかで、自分が今まででどこまでしか理解していなかったかがわかり、うまく教えられるようになって、はじめて人に教えられるレベルまで自分で理解できたと満足できる。そんな経験は、あまり他の職業ではできないのではないかということを実感する瞬間。特に、難しいことをうまく伝えられたと実感した瞬間。

6. 研究者・教育者人生の中で1番の思い出を教えてください。

海外での研究生生活を与えられたこと。

7. 新入生に一言お願いします。

人生では、うまくいかないことがあります。どうしようもないほどの屈辱をうけることもあります。でも、いつも心にバランスを。そして少しの勇気と情熱を！

ハングリーであれ！バカであれ！



森本 裕 (もりもと ゆう)

1988 年生

京都大学経済学研究科博士課程 修了

1. 先生の専門分野は何ですか？

航空産業と航空政策

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

特に、航空ネットワークの形成を研究しています。近年は、ハブ・スポーク型ネットワークとあって、大規模な空港を中心としたネットワークの形成が進んでいます。中心となるべく、各国の主要空港（例：日本の成田 V.S. 韓国の仁川）が競争しているのですが、競争に勝ち残るにはどうすればいいかを考えています。

3. 大学時代どのようにして経済学を学んでこられましたか？

学部時代は基本的には授業とゼミです。当時から交通経済学に関心がありました。大学院に入ってから、指導の先生からマンツーマンで教えてもらいました。英語の教科書や、重要な国際論文を読み込んで研究方法を勉強しました。

4. 最近気になった経済のニュースはなんですか？

関西三空港の機能分担見直しについてのニュースです。過去の経緯もあって神戸空港には強い規制が課せられていましたが、2018 年の台風被害が契機となって、次の時代に向けて運用方針が見直されることになりました。

5. 実際、大学の先生となり（教育・研究の面で）気づいたやりがいとはなんですか？

研究面では、自分が書いた論文を他の先生に読んでもらえた時にやりがいを感じます。論文を1本書くのには1年くらいかかるので、その成果を認知してもらえると嬉しいです。

教育面では、やはりゼミで学生が成長してくれると頑張った甲斐があったと感じます。2回生で入ってきたときは専門的な知識をほとんど持っていない状態ですが、3回生でインゼミ大会やリサーチフェスタを終えた後は、見違えるほどに成長してくれる学生が多いです。

6. 研究者・教育者人生の中で1番の思い出を教えてください。

まだ研究を始めて9年、教育は4年間しかしていません。数少ない中ではありますが、初めて海外で発表したのはいいい思い出です。英語でスライドを作って、発表の練習もして、それでも上手くいきませんでした。この反省もあって、英語の勉強を頑張ってきたのですが、いまでは留学生に向けて英語で授業をできるようになりました。

7. 新入生に一言お願いします。

何か一つ、「自分にしかできないこと」「自分しか知らないこと」を作ってください。NO.1があれば、就活も上手くいくでしょうし、社会人になってからも重宝されるでしょう。



新入生への メッセージ



新入生の皆さんへ

2019 年度卒業生
寺尾ゼミナール 藤田 誠也

甲南大学へ入学された新入生の皆さん、ようこそ甲南大学へ。この大学は、あなたの行動力が試されます。あなたの行動力が、この 4 年間を変えます。部活やサークルに入るもよし、留学するもよし、将来の為に社会にたくさん触れるもよしです。そして、しっかりと 4 年間の目標を決めましょう。日々に掲げる小さな目標と、1 年周期での大きい目標の両方を持つと、単に取り組むよりも得られるものが多いです。長いようで短い 4 年間、私からのメッセージが少しでも皆さんのお役に立てば幸いです。

さて、もうすでに私が皆さんにお伝えしたい事は上記に書ききってしまったので、後は私の大学生活を綴っていきたいと思います。興味のある方はついでに読んでみてください。

私が甲南大学経済学部に入學したのは、『KONAN IN KOBE』という大学発行のパンフレットにて、魅力的な授業を見つけ絶対受けたいと思ったことから始まります。2 年次から始まる「プロジェクトゼミ」は、本校経済学部を卒業された OB・OG であり、社会の第一線で活躍されている社長さんにご登壇いただき、課題を与えて頂きます。私たち受講生は約 3 カ月を通してチームとして結束すると同時に、課題に対する解決案を考えるという授業です。私がこの授業の存在を知った時は、これぞ大学の授業だと興味深々でした。

実際に受講してみて、この 3 カ月が 4 年間で最も苦しくて最も成長した期間でした。研究を行う中で教授や職員さんとの交流があり、初めて甲南大学の強みを感じました。この授業を受講したからこそ、自分に行動力があつたからこそ得られた繋がりがありました。そして、そのチャンスは皆さんにも平等に与えられています。活かすも殺すも自分次第、石橋を叩いて渡ることも大切ですが、自分が面白いと思うことには積極的に取り組んでみてください。

「甲南大学の強み」と先ほど書きましたが、皆さんは甲南大学について何を感じていますか？私は入学当初、小さい大学だなと感じていましたがそうではありません。「コンパクトな総合大学」というのが正しい認識だと思います。留学やボランティア、資格の取得などの窓口が充実していますし、留学生との交流もできます。そして、OB・OG の方々とコンタクトが取りやすく、自分から人脈を作ることが出来ます。こんな大学は少ないと思います。

先ほども書きましたが、チャンスは全員に平等に与えられています。活かすも殺すも自分次第な 4 年間、悔いの残らない大学生活を過ごしてください。

ようこそ！甲南大学へ

2019 年度卒業生
永廣ゼミナール 多田 凌也

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。あなたたちがこの大学に入学している頃には、私は既にこの大学にはいないでしょう。私はこの春から社会人になり社会に旅立ちます。新入生の皆さんは、今から素敵なキャンパスライフを謳歌することでしょう。

いいなあ～～、、、はい、マジで大学生は本当に楽しくて一瞬だったんですよ。小学生の頃は、「あれ？小学校6年間長くない？永遠じゃん！うっひょ～～」って感じだったんですけどね。今回はそんな一瞬のように過ぎる大学4年間を少しでも有意義な時間にしていただきたく、22のおっさんがイロイロとお教えしたいと思います。

まずは何かに没頭することです。大学生は本当に自由です。バイトして、お金貯めて、友達と遊んで、そんな生活も楽しいのですが、何かに没頭する大学生活も良いものです。かくいう私は、大学祭実行委員会に入っていました。私は大学祭実行委員会に入って本当に良かったです。先輩や後輩、同期達と一緒に作りあげる大学祭は確実に私の一番の思い出です。仲の良い友人もできるし、あんまり大きな声で言えないけど就職の役にも立つよ。このようにサークルや部活に没頭するのもよし、バイトや学外の団体での活動に没頭するのもよし、私のように大学祭に没頭するのもよし、みなさんそれぞれ没頭したいことを決めてそれに打ち込んでみてください！今この4年間しか自由に動ける時間はないので、色々なことにチャレンジすべきです！あ、学業を疎かにしてはいけませんよ。

そして次にコミュニティに入ることをオススメします。私は大学に入る前は、あまり人と話すことは得意ではありませんでした。しかし、大学に入り、色々なコミュニティに入ることにより、たくさんの人と話す機会ができました。大学には、中学や高校の部活などより規模が大きいコミュニティがたくさんあります。そこに入ることによって、人間関係が広まり、とても有意義な時間を過ごすことができると思います。でも、どこに入ればいいのか分からない、そんなあなたには経済学会に入ることをオススメします！このしおりを作っているのもなんと経済学会の人たちなんです！すごいですね！詳しくは5号館5階のコモンルームまで！、、、はい、すみません、宣伝でした。まあ、色々な団体が新歓活動を行っているのでいっぱい行って見てね！

ここまで、色々話してきましたが、最後に自分がどんな大学生活を過ごしたいのか決めてください。ただこれだけは言わせてください。絶対に後悔しない大学生活を送るように！この真っ白いキャンパスに自分だけの色を塗ってください！！俺良いこと言ったな。



新入生の
みなさんへ





甲南大学経済学会について

経済学会とは？

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。甲南大学経済学部
に入学した皆さんは、同時に「甲南大学経済学会」の会員となりました。**甲南大学経済学会とは専任教員・経済学部学生・大学院学生**で構成されています。経済学会は、経済学部教員・学生と相互にコミュニケーションをとりながら、皆さんがより良い大学生活を送れるように日々活動しています。

新入生の皆さん、ぜひ大いに活用して下さい。

学生評議員・学生スタッフ

それぞれ役職を決めた、学生評議員と学生スタッフが共同で活動しています。先輩・後輩同士でも気軽に会話ができる、とても和やかな雰囲気です。

定期的に評議員会を開きます。この場では教員評議員・学生評議員が企画内容等について意見を交換します。

主な活動内容

・ 総会

毎年5月下旬に開かれます。今年度の活動方針・予算・評議員を決めるための大切な会です。みなさんの意見を聞くことが目的の1つであるので、「経済学会 会員」は原則出席となっています。

・ 講演会

前年度は前期に株式会社ビジネスリテラシーの神瀬様を、後期に株式会社 i-plug の中野様をお呼びしました。

・ ゼミ紹介（2回生以上対象）

後期から始まるゼミ I を選択する際の参考になります。参加できなかった人は、コモンルームでビデオを見ることができます。

・ 社会見学

工場・会社に見学へ行きます。現場に足を運ぶからこそ学べるものがたくさんあります。前年度は「造幣局」へ行きました。経済学部生であれば誰でも参加できます。

・ 経済学部インナーゼミナール大会

ゼミでの研究成果を発表する大会です。甲南大学経済学会で企画・運営する甲南大学経済学会の最大の行事です。

発表は誰でも見ることができます。2回生から本格化する『ゼミ』を知るためにもぜひ参考にして下さい。

経済学会に興味がある、もっと詳しいことが知りたい!!という方は

まずはコモンルームへ!!

5号館5F(5505)へ来てみて下さい。経済学部生専用のポット・電子レンジ・パソコンがあります。

4月は時間割作成に関する質問にもお答えします。コモンルームに在室している評議員・スタッフに気軽に声をかけて下さい。また、HPもご覧下さい。

http://www.konan-u.ac.jp/hp/econ_keizaigakkai/

開室中は常時ドアを開けています。とてもオープンな雰囲気ですので、ぜひ一度経済コモンルームへ!!

経済学会評議員募集!!

経済学会では一回生の新しい評議員を募集しています。

ここでは経済学会会員がよりよい大学生活を過ごすことができるように、会員代表としてさまざまなサポートを行っています。また、数々の行事を開催しています。

評議員に興味がある方、大学に入って何か挑戦してみたい方、何かを企画、運営することが好きな方はぜひ一度気軽に見学にいらしてください。

興味のある方は一度5号館5階にある
経済コモンルームに!

【経済学会学生懸賞論文 執筆マニュアル】

2020年1月
甲南大学経済学会

I 論文の要件

- (1) 原則、ワープロ書きに限る。
- (2) 書式は、A4用紙、横書き（縦置き）、40字×36行/頁とする。
- (3) 分量は12頁以上20頁以下（題目・目次・図表・アンケート票等の付録類を含む）とする。
- (4) 日本語は明朝（全角）、英数字はTimes New Roman（半角）とし、いずれも10.5ポイントとする。
- (5) 論文は未発表作で、一人一作（共著の場合も含む）とする。

II 表紙

- (1) 表紙に記載することは
 - (a) 題目
 - (b) 目次（章のみ）
- (2) 審査は匿名で行うので、氏名・所属ゼミ名・学年は、表紙及び本文には記載せず、別紙に記入して添付すること。

III 章・節などのナンバリング

- (1) ナンバリングは、以下の方法に従うこと。
 - (a) ローマ数字 [I、II、III、……]
 - (b) 算用数字 [(1)、(2)、(3)、……]
 - (c) ローマ字 [(a)、(b)、(c)、……]

(例) I 変動相場制下の経営収支均衡と国際資本移動

 - (1) 1970年代の経常収支不均衡と国際資本移動
 - (a) 1970年代の経常収支不均衡

IV 脚注ならびに引用

- (1) 脚注の付け方
 - (a) 文章末尾の文字（句読点を除く）の右肩に数字を振り、論文の末尾にまとめて「文末脚注」とする。

(例) 問題は、市外社会から市内社会に支払われるアクセスチャージによって解消している¹。

(b) 脚注の数字の付け方は、算用数字 1、2、3……に統一し、(注 1)、(注 2)、(注 3) ……等としない。

(2) 引用の仕方

(a) 文献から文章等を引用する場合には必ず「 」を付け、著者名・文献名・出版社・出版年〔西暦〕・掲載頁数等について、脚注等で必ず明記すること。文献を要約して引用する場合も同様とする。

(3) 引用した文献の記載の仕方

(a) 書籍の場合

著者名『書籍名』（出版社名、刊行年〔西暦〕、頁）

(例) 宮島洋『税のしくみ』（岩波書店、1992 年、32 頁）

(b) 雑誌に掲載された論文の場合

著者名「論文名」（『雑誌名』、巻・号、頁）

(例) 宮尾尊弘「価格破壊は日本を救うか」（『エコノミスト』、第 72 巻 32 号、30 頁）

(c) 書籍に収録された論文の場合

著者名「論文名」（書籍の編者名・『書籍名』、出版社名、刊行年〔西暦〕、頁）

(例) 上島康弘「第 3 章 格差社会を生むもの」（広田照幸・川西琢也編、『こんなに役立つ数学入門—高校数学で解く社会問題』、2007 年、81 頁）

(d) Web ページの場合

著者名「タイトル」（URL、公表年月〔西暦〕、閲覧年月日）

(例) 青木浩治「国際経済学」（<http://www.eco.konan-u.ac.jp/home/gakkai/index.html>、2010 年 7 月、2016 年 8 月 1 日閲覧）

V 参考文献

(1) 論文作成の際に参照した文献は「参考文献」とする。「参考文献」は、論文・文末脚注の後にまとめる。

(2) 記載の仕方

(a) 書籍の場合

著者名『書籍名』（出版社名、刊行年〔西暦〕）

(例) 宮島洋『税のしくみ』（岩波書店、1992 年）

(b) 雑誌に掲載された論文の場合

著者名「論文名」（『雑誌名』、巻・号）

(例) 宮尾尊弘「価格破壊は日本を救うか」（『エコノミスト』、第 72 巻 32 号）

(c) 書籍に収録された論文の場合

著者名「論文名」（書籍の編者名・『書籍名』、出版社名、刊行年〔西暦〕）

（例）上島康弘「第3章 格差社会を生むもの」（広田照幸・川西琢也編『こんなに役立つ数学入門－高校数学で解く社会問題』、2007年）

(d) Web ページの場合

著者名「タイトル」（URL、公表年月〔西暦〕、閲覧年月日）

（例）青木浩治「国際経済学」（<http://www.eco.konan-u.ac.jp/home/gakkai/index.html>、2010年7月、2016年8月1日閲覧）

VI 図・表の記載

- (1) 出典を必ず明記すること（製本の際、原典を印刷するため）。
- (2) 通し番号を必ず付けること（表1、表2、図1、図2等）。

VIII 提出方法

原稿は必ず3部印刷し、経済学会コモンルームに直接提出すること。同時に、原稿の電子ファイルを添付したメールを経済学会コモンルーム（gakkai@center.konan-u.ac.jp）宛に送信すること。

*疑問点や不明点等がある場合には、経済学会コモンルーム

（gakkai@center.konan-u.ac.jp;078-431-4341〔内線3034〕）まで、直接お問い合わせください。

甲南大学経済学会会則

昭和 35 年 2 月 24 日	制定承認
昭和 41 年 12 月 14 日	改正承認
昭和 44 年 10 月 16 日	経済学会集会改正承認
昭和 49 年 5 月 16 日	経済学会総会改正承認
昭和 52 年 5 月 18 日	経済学会総会改正承認
昭和 58 年 5 月 25 日	経済学会総会改正承認
平成 2 年 5 月 30 日	経済学会総会改正承認
平成 3 年 5 月 29 日	経済学会総会改正承認
平成 4 年 5 月 27 日	経済学会総会改正承認
平成 6 年 5 月 25 日	経済学会総会改正承認
平成 8 年 5 月 29 日	経済学会総会改正承認
平成 9 年 5 月 28 日	経済学会総会改正承認
平成 13 年 5 月 30 日	経済学会総会改正承認
平成 15 年 5 月 28 日	経済学会総会改正承認
平成 16 年 5 月 26 日	経済学会総会改正承認
平成 20 年 5 月 28 日	経済学会総会改正承認
平成 21 年 5 月 27 日	経済学会総会改正承認

第 1 条 本会は、甲南大学経済学会と称し、事務所を甲南大学経済学部内におく。

第 2 条 本会は、全員加盟を原則とする。甲南大学経済学部の専任教員・学生（EBA総合コースの学生を除く）・大学院学生・卒業生のうち入会を希望する者、その他本会評議員会において入会を認めた者をもって組織する。会費については以下のとおり。なお、納入した会費は、理由のいかんを問わず返還しない。ただし、学生会員として会費を納めた者で入学を辞退した者についてはこの限りではない。

教 員	年 会 費	5,000 円
学 部 学 生	会 費（在学期間）	20,000 円
大学院学生	会 費（在学期間）	10,000 円

又、卒業生会員の権利および義務については、別に細則を定めるものとする。

第 3 条 本会は、経済学の研究ならびに普及をもって目的とする。

第 4 条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

1. 研究会
2. 学術講演会
3. 甲南経済学論集および経済学学生論集の発行
4. 学会新聞の発行
5. 研究・教育資料の収集・管理
6. インナーゼミナール大会の開催
7. 専任教員研究書刊行助成
8. その他本会の目的を達成するために必要と認める事項

第 5 条 本会の最高議決機関として総会を置く。本会の予算と決算は総会の承認を得なければならぬ。総会規程は別に定める。

第 6 条 総会は、本会の事業を運営するために評議員を選出する。評議員会は、経済学部長を含む専任教員 8 名、学生 8 名以上 20 名以下により構成され、任期は 1 年とする。評議員会規程は別に定める。

第 7 条 評議員長は経済学部長が兼任する。評議員長は本会を代表し、総会および評議員

会を招集する。

第 8 条 評議員会は互選により次の役員を選出する。

1. 総務委員（教員 1 名学生 1 名ないし 2 名）は、評議員間の連絡・調整にあたり、評議員会の事務を統括するとともに、本会の事業の記録を作成する。
2. 会計委員（教員 1 名学生 1 名ないし 2 名）は、本会の事業経費を管理する。
3. 管財委員（教員 1 名学生 2 名ないし 3 名）は、研究・教育資料の収集を行う。
4. 編集委員（教員 2 名学生 2 名以上）は、甲南経済学論集、経済学学生論集、学会新聞等の定期刊行物の編集・発行にあたる。
5. 企画委員（教員 2 名学生 2 名以上）は、研究会、学術講演会、インナーゼミナール大会、その他本会の目的を達成するための事業を企画する。

なお、評議員会は必要に応じて会員の中から本会の活動に協力する実行委員を委嘱することができる。

第 9 条 評議員会は、本会の事業活動を円滑に行うための諮問・連絡機関としてゼミ委員会を招集することができる。

第 10 条 本会の事業とそれにともなう予算の執行を厳正・公平たらしめるべく、教員 1 名学生 1 名の監査委員を置く。監査委員は総会において選出され、任期は 1 年とする。

第 11 条 本会の経費は、会費・事業収入・寄付金および甲南大学からの助成金をもってこれにあてる。

第 12 条 本会則は、総会規程第 6 条に基づいて改正することができる。

総 会 規 程

昭和 44 年 10 月 16 日 経済学会集会制定承認
平成 6 年 5 月 25 日 経済学会総会改正承認

第 1 条 総会は、経済学会会員全員によって構成され、その決議はすべてに優先する。

第 2 条 原則として毎年 5 月に定期総会がもたれなければならない。

第 3 条 評議員長は、次の場合 2 週間以内に臨時総会を招集しなければならない。

1. 評議員会が必要と認めたとき
2. 経済学部教員 2/3 以上の要求があったとき
3. 学生会員 50 名以上の要求があったとき

4. 卒業生会員 50 名以上の要求があったとき

第 4 条 総会は、卒業生会員を除く全会員の 1/5 以上の出席により成立する。ただし、委任状は出席定数に算入することができる。

第 5 条 総会の決議は、出席会員の過半数の同意を必要とする。ただし、決議にあたっては委任状は算入されない。

第 6 条 経済学会会則の改正は、出席会員の 2/3 以上の同意を必要とする。ただし、決議にあたっては委任状は算入されない。

評 議 員 会 規 程

昭和 44 年 10 月 16 日 経済学会集会制定承認
昭和 52 年 5 月 18 日 経済学会総会改正承認
平成 20 年 5 月 28 日 経済学会総会改正承認
平成 21 年 5 月 27 日 経済学会総会改正承認
平成 22 年 5 月 19 日 経済学会総会改正承認

第 1 条 評議員会は、経済学会会則に定められた事業の運営を行い、その事業を達成させるために評議員は評議員会に出席するよう努めなければならない。

第 2 条 評議員会は、次の事項について総会の承認を得なければならない。

1. 予算および決算
2. 活動報告
3. その他評議員会が必要と認めた事項

第3条 評議員長は、原則として毎月1回定期評議員会を招集しなければならない。

第4条 評議員長は、次の場合10日以内に臨時評議員会を招集しなければならない。

1. 評議員長が必要と認めたとき
2. 評議員3名以上が必要と認めたとき
3. 学生会員30名以上の要求があったとき
4. 卒業生会員30名以上の要求があったとき

第5条 評議員会は評議員の過半数をもって成立する。ただし、委任状は出席定数に算入することができる。

第6条 評議員の決議は、出席評議員の過半数の同意を必要とする。ただし、決議にあたっては委任状は算入されない。

卒業生会員細則

〔昭和52年5月18日 経済学会総会制定承認
平成20年5月28日 経済学会総会改正承認〕

第1条 甲南大学経済学部卒業生のうち、経済学会への入会を希望する者（以下「卒業生会員」とよぶ）は、氏名、卒業年度、現住所を経済学会評議員会に登録し、「卒業生会員証」の交付を受けるものとする。登録は卒業2カ月前からできるものとする。

第2条 経済学会への入会を引き続き希望する者は、毎年1月から3月末までの間に、登録の更新を行わなければならない。なお、卒業生会員は、現住所の変更をすみやかに評議員会に届け出なければならない。

第3条 卒業生会員は、登録またはその更新の際、会費年4,000円を納入しなければならない。ただし、2カ年以上の登録と会費納入を一括して行うことはできる。入会金納入の義務はない。

第4条 卒業生会員は、経済学会すべての事業に参加し、そのサービスを受けることができる。ただし、卒業生会員は、評議員に就任することはできず、また「総会規程」第4条にもとづいて総会での投票権をもたない。

第5条 本細則は、総会の決議によって改正することができる。